

名古屋芸術大学・大学院 後援会報

第59号 2015年9月30日発行

CONTENTS

1	目次 後援会委員募集	27	先輩の活躍
2	ごあいさつ	29	ブライトン大学訪問記
3	後援会定期総会報告 前年度事業報告・今年度事業計画	30	音楽学部主催による演奏会のご案内
4	新役員・委員一覧	31	親の想い
5	2014年度 後援会決算報告	32	子の想い
7	2015年度 後援会予算書	33	クラブ・同好会紹介
9	名古屋芸術大学近況報告	35	トピックス ピックアップ
16	2015年度 学生数	37	アート&デザインセンター展覧会スケジュール
17	学生部報告 大学へのお問合せ先一覧	38	せせらぎ合唱団・壁の華 会員募集
18	就職セミナーのご紹介	39	後援会学費貸付事業のご紹介
21	2015年度 行事予定	40	名古屋芸術大学・大学院後援会会則
24	2015年度 入学式	41	学校法人名古屋自由学院決算報告
25	各学部進路状況	42	木祖セミナーハウスのご紹介 編集後記

後援会委員募集

皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は後援会活動にご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

後援会では後援会報にて後援会事業報告、大学の様子、活動等での学生の活躍を数々紹介しています。

お子様は学生生活を一生懸命に。保護者の皆様は後援会に参加して私たちと一緒に活動しませんか。

あなたの力を貸してほしいです。

この場が皆様とのご縁のきっかけになれば嬉しく思います。

募集期間は定期総会のときはもちろん、随時募集をしています。

是非ご連絡を心待ちにいたしております。

【お問い合わせ】

電話：0568-24-0315（内線385番）

メールアドレス：kouenkai@nua.ac.jp

副会長 真野久美子



ごあいさつ



後援会長
飯田 康子

日ごろから後援会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

希望と夢にあふれ名古屋芸術大学に入学されてから半年が経ち、学生生活をエンジョイされていることと思います。

東海地区唯一の美術学部、音楽学部、デザイン学部、人間発達学部の4学部を持つこの大学に今年度から音楽学部新しくエンターテイメントディレクションコースが加わりました。専門の講師陣と共に学内すべての教職員で新しいコースを支えていく体制になっています。私ども親である後援会も少しでも力になっていきたいと思っております。

1年に1度の後援会総会は、直接学校の方針を聞き学内を見学できる唯一の機会です。今年度は多くの方に参加していただき後援会と学生生活の活動を知っていただくた

め、総会後に学食の試食とミュージカル科の公演、公演終了後は学部長の先生から学部方針の説明後、東キャンパスの学内見学をしました。

ミュージカル公演は素晴らしく、こんなにレベルが高いんだと多くの方が感激してみえました。公演の中で生徒から素晴らしい環境を整えてくださりありがとうございますとの父母への感謝の言葉があり、学内ならではの公演に私自身感動しました。

学食も好評で4種類の中から選んでいただき、普段子供が過ごしている空間を少しでも体験していただけたかなと思います。

総会の時にもお話ししましたが、芸術大学という特性から、子供の頑張りを直接作品展、演奏会や発表会という形で見ることができます。学内学外での演奏会や、作品展などたくさん出かけてお子様と一緒に楽しんでいただけたらと思います。また、学内で市民講座も開催しております。こちらは北名古屋市のホームページなどご覧になってご参加ください。学内の催し物については、この後援会報やホームページにも詳しくのせております。ぜひご覧ください。

後援会が学校と学生の一番の理解者でサポーターであり続けられるよう、尚一層努力してまいります。どうぞ一年間よろしくお願いたします。



学長
竹本 義明

大学改革について

名古屋芸術大学は、2013年から取り組んできた大学改革「融合と再編」と学校法人が押し進める「マスタープランリポーン2014」を合わせて改革に取り組んでいます。

大学改革を推進する背景として私立大学を取巻く最近の諸事情があります。平成26年4月には「私立学校法の一部を改正する法律」が施行され、私立学校の自主性を尊重しつつ、私学全体に対する不信感につながるような異例な事態に所轄庁が適切に対応するための仕組みを整備するものです。

翌27年4月には「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律」が施行されました。内容は、大学運営における学長のリーダーシップの確立等のガバナンス改革を促進するため、副学長・教授会等の職や組織の規定を見直すとともに、国立大学法人の学長選考の透明化等を図るために改正されました。そして、中高では活動重視のアクティブラーニングや新テストに対応した授業展開がなされ

るようになっており、大学は時代の背景を踏まえた改革を求められています。

現在、名古屋芸術大学はデザイン学部を除く学部の定員が未充足となっており「教育・研究の質的向上」「社会貢献の推進」を掲げ、大学の継続的発展を可能とする改革に取り組んでいます。その内容は、現在の4学部5学科体制を、2学部(音楽、美術、デザイン学部を融合させた芸術学部)とし、専門教育の充実を図り、領域横断的なカリキュラムを実現し、幅広い知識を身につけられるリベラルアーツ教育を実現し、社会で活躍する人材の育成を目指すことです。

人間発達学部は、保育士、幼稚園、小学校教諭という3つの資格に対応するため、学部、学科を独立させて課程を維持することが求められることから、1学部1学科とし、人間発達学部創設の意義を再確認して既存芸術系学部との連携を強化した特色のある学部運営を目指します。

芸術学部の既存3学部において、名称が変わることにより社会において専門性に対する訴求力が低下する懸念がありますが、専門領域の横断的学びを実現し、音楽、美術及びデザイン領域の基礎を学んだ学生の育成が、既存3学部の学びを超える教育課程を作りたいと考えています。

この改革により、専門教育の維持と社会人養成としての新たな多様なニーズに対応し「大学における教育の質的転換」「学修成果や内部質保証に関する評価の促進」を実現し、大学が発展するよう取り組みます。

引き続き後援会の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

2015年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 定期総会

2015年5月17日(日) 10:00より、東キャンパスにおいて、「2015年度名古屋芸術大学・大学院後援会定期総会」が開催されました。

2014年度 名古屋芸術大学・大学院後援会事業報告

月 日	事業内容	開催場所
5月18日(日)	2014年度後援会定期総会事前打合せ 2014年度後援会定期総会	西キャンパス
5月下旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
6月4日(水) ～10日(火)	イギリスブライトン大学グラデュエイトショウ 後援会会長他大学関係者参加	イギリス
6月上旬	後援会より補助金一括交付	
6月21日(土)	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月19日(土)	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	東キャンパス
9月30日(火)	後援会報第57号発行	
10月18日(土) ～19日(日)	後援会研修旅行 1泊2日	箱根
10月25日(土)	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月中旬	法人より委託徴収金振 後期分	
1月17日(土)	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月14日(土)	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	東キャンパス
3月6日(金)	ブライトン大学賞表彰式(会長)	名古屋東急 ホテル
3月20日(金)	卒業式参列(会長・副会長《総務委員長》)	日本特殊陶業 市民会館
3月20日(金)	卒業記念パーティー出席 (会長はじめ役員)	名古屋マリオット アソシアホテル
4月上旬	後援会報第58号発行	
4月1日(水)	入学式参列 (2014年度会長・副会長《総務委員長》)	西キャンパス
4月16日(水)	2014年度会計監査(2014年度監査2名、 会長・副会長《総務委員長》)	東キャンパス
4月18日(土)	第6回役員会(定期総会準備他)	
備 考	以上のほかにも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、 国際交流補助事業、授業料貸付事業等を行いました。	

2015年度 名古屋芸術大学・大学院後援会事業計画

月 日	事業内容	開催場所
5月17日(日)	2015年度後援会定期総会事前打合せ 2015年度後援会定期総会	東キャンパス
6月下旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
6月3日(水) ～8日(月)	イギリスブライトン大学グラデュエイトショウ 後援会会長他大学関係者参加	イギリス
6月下旬	後援会より補助金一括交付	
6月20日(土)	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月18日(土)	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	東キャンパス
9月30日(火)	後援会報第59号発行	
10月3日(土) ～4日(日)	後援会研修旅行 1泊2日	
10月24日(土)	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
12月中旬	法人より委託徴収金振 後期分	
1月16日(土)	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月13日(土)	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	
3月 卒展開催中	ブライトン大学賞表彰式(会長)	
3月21日(月)	卒業式参列(会長・副会長《総務委員長》)	
3月21日(月)	卒業記念パーティー出席 (会長はじめ役員)	
4月上旬	後援会報第60号発行	
4月	入学式参列 (2015年度会長・副会長《総務委員長》)	
4月中旬	2015年度会計監査(2015年度監査2名)	
4月下旬	第6回役員会(定期総会準備他)	
備 考	以上のほかにも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、 国際交流補助事業、授業料貸付事業等を行う予定です。	

■2015年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 役員・委員一覧

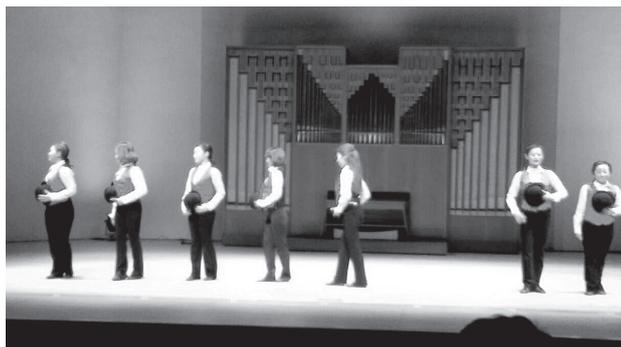
通番	役職名	氏名
1	会 長	飯田 康子
2	副 会 長 (総務委員長)	真野久美子
3	副 会 長 (事業委員長)	岩尾 弥生
4	副 会 長 (広報委員長)	望月 弘子
5	副会長(会計)	安藤 邦恵
6	会 計 監 査	日比野弘嗣
7	会 計 監 査	木村 充代
8	書 記	角谷 一彦
9	書 記	長尾 啓史
10	会 計	渡部 朝子
11	監 事	平井 友明

通番	役職名	氏名
12	総務副委員長	服部 政光
13	事業副委員長	余吾めぐみ
14	広報副委員長	山田 貢
15	広報委員	佐藤 耕太



午前中に総会、音楽学部ミュージカルコース学生によるミュージカルを行い、昼食後、大学主催の教育懇談会が行なわれました。

多数の父母の方に参加いただきありがとうございました。



■2014年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 決算書

1. 一般会計

2014. 4. 1～2015. 3. 31 単位：円

収入の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,938,848	1,938,848	0	
会 費 収 入	24,784,000	24,052,000	732,000	
特別会計より繰入	2,000,000	2,000,000	0	学費貸付金口
受 取 利 息	2,000	1,577	423	普通預金
手数料他収入	20,000	12,266	7,734	事業協賛金
合 計	28,744,848	28,004,691	740,157	

支出の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
通 信 費	350,000	249,163	100,837	私学助成署名運動他
旅 費・交通費	250,000	144,000	106,000	
会 議 費	500,000	390,452	109,548	
事務費・用品費	150,000	116,722	33,278	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	25,000	75,000	
渉 外 費	500,000	372,295	127,705	役員手当て 祝花
事務職員人件費	800,000	766,583	33,417	
(総務関係合計)	2,650,000	2,064,215	585,785	
芸大祭補助	3,500,000	3,500,000	0	
クラブ補助	7,500,000	7,500,000	0	
就職活動補助	5,500,000	5,464,481	35,519	
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,000,000	720,121	279,879	
公開講座補助	4,000,000	3,143,493	856,507	
役員研修費補助	800,000	595,458	204,542	
(事業関係合計)	23,900,000	22,523,553	1,376,447	
広 報 活 動	1,200,000	937,440	262,560	広報誌・封筒(大)
広報誌郵送料	500,000	377,989	122,011	
広報誌手数料	50,000	0	50,000	
(広報関係合計)	1,750,000	1,315,429	434,571	
予 備 費	444,848	25,920	418,928	奨学金返還請求分 弁護士
次年度繰越	0	2,075,574	-2,075,574	
総 合 計	28,744,848	28,004,691	740,157	

2. 特別会計決算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1	前年度繰越金	1,500,321	1,500,321	0	
2	一般会計より資金繰入	0	0	0	
3	雑 収 入	200	300	-100	
4	合 計	1,500,521	1,500,621	-100	

支出の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
5	特別積立金事業計画	0	0	0	
6	事業計画積立金	0	0	0	
7	次年度繰越金	1,500,521	1,500,621	-100	
8	合 計	1,500,521	1,500,621	-100	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
9	前年度繰越金	12,360,145	12,360,145	0	
10	一般会計より資金繰入	0	0	0	
11	特別会計より資金繰入	0	0	0	
12	学生貸付金返済金	3,500,000	2,811,340	688,660	
13	雑 収 入	2,000	1,980	20	
14	合 計	15,862,145	15,173,465	688,680	

支出の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
15	学 生 貸 付 金	10,000,000	1,845,000	8,155,000	
16	一般会計へ資金繰入	2,000,000	2,000,000	0	
17	予 備 費	3,862,145	0	3,862,145	
18	次年度繰越	0	11,328,465	-11,328,465	
19	合 計	15,862,145	15,173,465	688,680	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
20	前年度繰越金	2,133,487	2,133,487	0	
21	雑 収 入	500	346	154	
22	合 計	2,133,987	2,133,833	154	

支出の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
23	記 念 事 業 等	350,000	0	350,000	
24	次年度繰越金	1,783,987	2,133,833	-349,846	
25	合 計	2,133,987	2,133,833	154	

■2015年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 予算書

1. 一般会計

2015. 4. 1～2016. 3. 31 単位：円

収入の部

	2015年度 予 算	2014年度 予 算	差 異	備 考
前年度繰越金	2,075,574	1,938,848	136,726	
会 費 収 入	24,360,000	24,784,000	-424,000	4月1日現在 新入生 535人 在学生 1,580人
特別会計より繰入	2,000,000	2,000,000	0	学費貸付金口
受 取 利 息	2,000	2,000	0	普通預金
手数料他収入	20,000	20,000	0	事業協賛金
合 計	28,457,574	28,744,848	-287,274	

支出の部

	2015年度 予 算	2014年度 予 算	差 異	備 考
通 信 費	350,000	350,000	0	
旅 費・交 通 費	250,000	250,000	0	
会 議 費	500,000	500,000	0	
事 務 費・用 品 費	150,000	150,000	0	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
渉 外 費	500,000	500,000	0	チケット代、 役員手当て
事務職員人件費	800,000	800,000	0	担当派遣職員
(総務関係合計)	2,650,000	2,650,000	0	
芸 大 祭 補 助	3,500,000	3,500,000	0	
ク ラ ブ 補 助	7,500,000	7,500,000	0	
就 職 活 動 補 助	5,500,000	5,500,000	0	
卒業生を送る補助会	400,000	1,000,000	-600,000	各学部10万円とする
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,000,000	1,000,000	0	
公開講座補助	4,000,000	4,000,000	0	
役員研修費補助	800,000	800,000	0	研修費補助金
(事業関係合計)	23,300,000	23,900,000	-600,000	
広 報 活 動	1,200,000	1,200,000	0	広報誌・封筒(大・小)
広報誌郵送料	500,000	500,000	0	
広報誌手数料	0	50,000	-50,000	今年度計上しない
(広報関係合計)	1,700,000	1,750,000	-50,000	
定期総会運営費	600,000	0	600,000	イベント費用、 保護者昼食費用等
予 備 費	207,574	444,848	-237,274	
総 合 計	28,457,574	28,744,848	-287,274	

2. 特別会計予算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2015年度 予算	2014年度 予算	差 異	備 考
1	前年度繰越金	1,500,321	1,500,321	300	
2	雑 収 入	300	200	100	
3	合 計	1,500,921	1,500,521	400	

支出の部

単位：円

	科 目	2015年度 予算	2014年度 予算	差 異	備 考
4	特別積立金事業計画	0	0	0	
5	事業計画積立金	0	0	0	
6	次年度繰越金	1,500,921	1,500,521	400	
7	合 計	1,500,921	1,500,521	400	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2015年度 予算	2014年度 予算	差 異	備 考
8	前年度繰越金	11,328,465	12,360,145	-1,031,680	
9	一般会計より資金繰入	0	0	0	
10	特別会計より資金繰入	0	0	0	
11	学生貸付金返済金	2,800,000	3,500,000	-700,000	
12	雑 収 入	2,000	2,000	0	
13	合 計	14,130,465	15,862,145	-1,731,680	

支出の部

単位：円

	科 目	2015年度 予算	2014年度 予算	差 異	備 考
14	学 生 貸 付 金	10,000,000	10,000,000	0	
15	一般会計へ資金繰入	2,000,000	2,000,000	0	
16	予 備 費	2,130,465	3,862,145	-1,731,680	
17	合 計	14,130,465	15,862,145	-1,731,680	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2015年度 予算	2014年度 予算	差 異	備 考
18	前年度繰越金	2,133,833	2,133,487	346	
19	雑 収 入	500	500	0	
20	合 計	2,134,333	2,133,987	346	

支出の部

単位：円

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
21	記 念 事 業 等	350,000	350,000	0	
22	次年度繰越金	1,784,333	1,783,987	346	
23	合 計	2,134,333	2,133,987	346	

名古屋芸術大学近況報告

音楽学部

《演奏学科》

声楽コース

2015年5月28日(木)に本学東キャンパス2号館中アンサンブル室に於いて、本学特別客員教授マルチェッラ・レアレ氏による声楽公開講座が開催され、声楽コースの学生および院生が、一般公開の聴衆の前で世界的オペラ歌手のレアレ氏から熱心な指導を受け、貴重な体験をしました。この講座は、10月22日(木)の午後3時から6時に同じ会場で開催される予定です。

また、本年度のオペラ公演は、2016年2月26日、27日に名古屋市西区文化小劇場において、林光の「あまんじやくとうりこ姫」とラヴェルの「子供と魔法」の二作品を上演予定です。今回は久しぶりに邦人作品を取り上げます。

4年生を中心に配役も決まり澤脇教授の指導のもと練習に励んでいます。その他、学生達に舞台経験を積ませるための演奏会「歌曲の夕べ」を2016年2月4日に熱田文化小劇場で行う予定です。

声楽コース 教授 土佐 誠

ピアノコース

恒例行事である「パリ・エコール・ノルマル音楽院交換交流」。本年度は5月7日(木)に音楽院副校長で作曲家であるルイ・マンサール先生による「ディティユーのピアノ作品とその背景」というタイトルで行なわれました。

第一部はピアノコース3年生の深町奈緒さんが、ドビュッシーの「霧」を、また、ピアノコース2年生の西村玲央菜さんがディティユーの「子守唄風の前奏曲」と「響き」を演奏しました。

第2部は交歓演奏会ということで、作曲コース2年伊藤慎浩君の作品「Herbst」を大学院修了生の水野佐紀さんが演奏し、マンサール先生の「3つのダンスーピアノのための一」を大学院修了生の戸田恵さんが演奏しました。

また、ピアノコンチェルトオーディションの今年の課題は、ベートーヴェンの第4番作品58と、ショスタコーヴィチの第2番作品102でした。このオーディションの結果、7月12日の電子オルガンとのコラボ企画で、ベートーヴェンでは、第1楽章は2年生の辻井初摘さんが、第2・3楽章は同じく2年生の新井里奈さんが演奏しました。

また、ショスタコーヴィチは第1楽章、3年生の小林碧葉さん、第2・3楽章は2年生の西村玲央菜さんが演奏しました。集まった沢山の聴衆は、電子オルガンとピアノの妙なる調べに聴き入っていました。

そして、オーケストラとのコンチェルトの演奏会は、台風が心配される中、7月16日(木)しらかわホールで行なわれました。指揮は古谷誠一先生。この演奏会では、ベートーヴェンのコンチェルトの第1楽章に、特別に本学非常勤講師の前川晶先生が出演されました。他の楽章並びにショスタコーヴィチの協奏曲では、電子オルガンとのコラボ企画の出演者が更に研鑽を積んで演奏しました。

7月23日(木)24日(金)には、本学特別客員教授のウィーン国立音楽大学教授プリンツ先生が、7月14・15日、8月4・5日には、客員教授の近藤嘉宏先生が、学生たちに熱心に指導してくれました。

8月8日(月)には、前期試験で優秀な成績を修めた学生たちによるサマーコンサートが本学3号館ホールで開催されました。猛暑の中、聴きにいらした方たちは、学生たちの演奏に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

ピアノコース 教授 菅原美枝子

電子オルガンコース

後援会の皆様、日頃より本学への温かいご理解とご協力に、心より御礼申し上げます。

電子オルガンコースに於きましては、お蔭様にて学生らはイキイキと本人らの目指す音楽の実現にそれぞれが張り切っているようです。コース担当の教員としましては、皆様の前で申すのも何ですが、「親心」に近い感慨を覚え、目を細めている次第であります。例年の如くですが、学内・学外での演奏活動もなるべく設けております。これは私自身がそうしてきましたように、人前での演奏経験から学生らに諸々の大切なことを学んでもらいたいからです。そのいくつかをご報告させていただきます。

今年の2月半ばに、本学と提携をしました豊橋の自然史博物館(のんほいパーク内)の恐竜展示スペースで、学生らにミニステージをやる機会がございました。学生らは実にのびのびと弾いてくれました。本コース4年の望月茜は自作曲の「Dinosaur live in nature」という曲を演奏したのですが、これが館長様の大変気に入るところとなり、なんと恐竜展示スペースのテーマ曲として採用して下さるという、願ってもいない快挙に繋がりました。

これも恒例化にもなっており、7月末の毎年の尾張一宮、七夕祭りのステージへの出演も好評のうちに終了。私たちの楽器は知られているようでいて、演奏する姿やどんな音や音楽が奏でられるのか、実はあまり知られていない面も有ります。当日聴いて下さったお客様で初めての方々は一様に驚き、また喜んで下さり、学生らは大変温か

い拍手を頂戴しました。その日のステージのトリはゲストのプロ演奏家、疋田詩織さんでしたが、彼女は本学の電子オルガンコースをおとし出た卒業生。七夕祭りが名芸一色になった1日でした。

毎年夏に2号館とホールで催している電子オルガンコースのワークショップは今年も大盛況でした。7月12日の日曜日、中部北陸東海から電子オルガンを愛する方々に大勢いらして頂き、朝から夕方5時前まで音楽三昧。昨年まで名古屋音楽学校で催しましたピアノコースとのコラボ企画『ピアノと電子オルガンによる協奏曲演奏会』も、今年はこのワークショップにて開催。ベートーベンの四番、ショスタコーヴィッチの二番の2曲を全楽章演奏。オーケストラパートの電子オルガンは3年の大橋遥、野田友香がベートーベン、2年の岡田京子、長谷川歩美（総合コース）が演奏してくれて好評を得ました。大きなものとしては12月の熱田文化小劇場での定演『アースエコー』ですが、コース一丸となり、活きた音楽を発信出来るよう邁進していきたく存じますので、何卒これからもよろしくお願いを申し上げます。

電子オルガンコース 准教授 鷹野雅史

弦管打コース

まずは、演奏会の告知をしたいと思います。この会報誌が発行されるころには既に終了しているかも知れませんが、8月30日(日) 15:00より本学3号館ホールにて、NUA Stringsの第8回定期演奏会があります。月が変わり9月21日(月・祝) 13:30よりウインドオーケストラ第34回定期演奏会、更に10月31日(土) 13:30より名古屋芸術大学オーケストラ第33回定期演奏会が愛知県芸術劇場コンサートホールにてそれぞれ行われます。どのコンサートも入場無料ですので、お気軽にお越し下さい。その他11月・12月にも室内楽の演奏会がございます。詳しくは大学ホームページもしくは本学演奏課にお問い合わせ下さい。さて今年度の弦管打コースは2つの公開講座がありました。1回目は5月19日(火) アラン・カークス氏によるトランペットの講座です。氏は現在、ヴァンダービルト大学の教授として後進の指導をする傍ら、ソリストとしても世界的に活躍されている人物です。前半は4年生の小賀真利子さんと川路かおりさんがそれぞれハイドンのトランペット協奏曲でクリニックを受け、後半はカークス氏によるミニコンサートがあり、計6曲を演奏しました。2回目は7月7日(火) ファブリツィオ・メローニ氏によるクラリネットの講座です。現在ミラノ・スカラ座の首席奏者である氏のクリニックを、2年生の村田幸菜さんがメルカダントのクラリネット協奏曲で、また4年生の井上明日香さんがモーツァルトのクラリネット協奏曲でそれぞれ受講しました。終了後メローニ氏のミニコンサートがあり、3曲を演奏した後アンコールに控え、更に1曲演奏しました。どちらの講座にも大勢の学生と一般の方が来られ、非常に有意義なものとなりました。また機会があれば、来年もこの様な講座を開催したいと考えております。

弦管打コース 准教授 依田嘉明

《音楽文化創造学科》

音楽教育コース

本コースでは、学生たちの縦のつながりを深めるために、1年生から4年生まで全員が集まって、年に数回意見交換会を実施しています。1回目(4月)は「顔合わせの会」で、2年生以上の学生たちが大学生活について語り、1年生は先輩たちの話を楽しそうに耳を傾けていました。2回目(7月)は「教育実習の報告会」と題して、4年生が教育実習での体験を話しました。先輩の体験談は後輩たちにとってとても参考になったようで、みんな真剣に聞いていました。このような集いは今後も続けていく予定です。

ところで、学生たちとの研修旅行も楽しみなイベントのひとつです。8月初めには、「日本最古の小学校を見学し、教育の歴史に触れよう!」というテーマのもと、1年生とともに静岡県磐田市の旧見付学校に出かけました。ここは明治8年(1875)年、今からちょうど140年前に建てられた、現存する日本最古の木造擬洋風の小学校です。明治時代初めの教育がどのような場で、どのように行われていたのか。日本における教育の歴史の一端に触れることができ、良い勉強になりました。

一方、音楽教育コース専門科目のひとつである「音教ゼミ」の今年のテーマは「ユネスコの無形文化遺産の研究」で、学生たちは今、さまざまな資料に基づいて研究中です。無形文化遺産には音楽に関係するものが大変多く、日本文化を知る上で良い機会になりそうです。なお、毎年行うゼミ研修(来年2月の予定)では、このテーマに関係の深い場所を訪れたいと考えています。

単なる机上の学習ではなく、さまざまな土地に出向き、実際に文化に触れる。このような機会をできるだけ多く持てればと願っています。

音楽教育コース 教授 金子敦子

作曲コース

作曲コースでは、作品を作る上でかせないアカデミックな作曲理論と、それに裏打ちされた実際の作品作りを中心に学習していきます。そして、学生が作曲した作品は、学内で開催される様々な演奏会に出品し、自分の作品が、実際の演奏を通じて、どのような音楽になるのかを検証していきます。昨年度は、例年開催される定期演奏会、さらには、本学との姉妹校であるパリエコール・ノルマル音楽院との交歓演奏会などで、学生の作品が発表されました。また、来年2月に開催される、最先端のテクノロジーを駆使した新しい音・音楽と映像のコラボレーションによるイベント、「カレードスコープ」に、積極的に作品を提供するように指導していきます。

本コースの慣例行事となりました、3月に実施されます「作曲コース試演会」では、今回も、個性の異なる様々な作品が、学内外の演奏者により演奏され、学生にとってはこれも貴重な体験となりました。このように、本学の作曲コー

スでは、他大学と比較しても、作品の演奏されるチャンスに恵まれ、各学生の音楽的スキルを高めるために、恵まれた環境で学んでいるといえます。

作曲コース 教授 田中範康

サウンドメディアコース

6月18日(木)、音楽業界で幅広く活躍するレコーディングエンジニアであり、なおかつ数々の作品を手掛ける作曲家でもある、峯岸良行氏をお招きし、ポップミュージックの音楽制作・録音についてお話し頂きました。自身の音楽のルーツを幼少期から遡り、現在の仕事で役立っていることをユーモア交えて伝えていただきました。講義終了後には学生の作品も聴いてアドバイスをして頂き、大変貴重な機会となりました。

7月13日(月) サウンドメディアコース学生が、現代におけるアートのあらゆる可能性を探求し、音楽作品を制作しながら映像や照明の演出表現を加え、さまざま表現と音楽の有機的結合をめざすコンサート、カレドスコープのテクニカルリハーサルを大アンサンブル室で行いました。今年度はエレクトリック楽器やアコースティック楽器のアンサンブルと、前後や上下にスピーカーを配置した立体音響と多面映像スクリーンを媒体として実験的な音楽・音響空間作りを目指します。

これからも本コースは、音楽制作・録音・音響を通じて音楽とテクノロジーと芸術の関わりについて考えながら作品制作に取り組んで参ります。ご支援のほどよろしく願いたします。

サウンドメディアコース 准教授 長江和哉

音楽療法コース



1月18日に、日本音楽療法学会認定音楽療法士(補)の試験が東京の日本教育会館で行われました。今年も年末から試験勉強にラストスパートをかけた4年生、9割の学生が合格しました。3月に行われた音楽療法士の本試験にも数名の学生が合格することができました。音楽療法士として就職する学生も増えてきており、今後の活躍を大いに期待しています。

3月14日には、大アンサンブル室にて「音楽療法コンサート」を開催しました。音楽療法を利用されている子どもさんや大人の方たちが様々な楽器演奏、即興演奏、歌、ダンスなどを披露してくれました。卒業生と学生と一緒にサポートすることで、全員で発表者の表現をシェアできる大変素晴らしい会となりました。

3月29日には本学にて日本音楽療法学会東海支部大会が行われました(大会長久保田進子教授、実行委員長 伊藤孝子准教授)。講演会等も非常に有意義な内容で、天候



には恵まれませんでしたが、約200名の参加がありました。今後も日本の音楽療法の発展に寄与しつつ、本学としても更なる進化を目指していきたい所存です。

また、2016年度より、音楽療法コースは、「音楽ケアデザインコース」として新しく生まれ変わります。これまで蓄積してきた知識や技術は継承し、音楽療法士を引き続き養成しながらも、ケア的観点を持って、地域と人、人と人などをつなぐノウハウを持った人材を育てていくことで、広く社会に貢献していきたいと考えています。ホームページ等でコースの説明をさせて頂いていますので、ご覧の上、関心をお寄せいただけると幸いです。

音楽療法コース 准教授 伊藤孝子

ミュージカルコース

ミュージカルコースの3月公演は、アートピアホールで、『Swing! Jeanne, Swing!』というオリジナル作品を上演しました。スウィングジャズに乗って、奇跡の少女ジャンヌ・ダルクが現代に甦るといこの作品は、大邱国際ミュージカルフェスティバルで特別賞を頂いた作品の再演でした。また試演会では、3・4年生が『RENT』、1・2年生が『A Chorus Line』に挑みました。どちらもブロードウェイのヒット作品でしたが、ミュージカルコースでは毎年、こうした大作を課題に取り上げ、若き学生たちならではの個性を盛り込んだミュージカル創作に取り組んでいます。

恒例となっているベストテンコンサートも各地で開催されました。学生と音楽総合研究所(ミュージカル)研究員のコラボレーション企画であるベストテンコンサート、ご両親やおじいちゃんおばあちゃんたちの青春時代を彩った昭和の歌を歌い継ごうというこの企画は、北名古屋(北名古屋市主催/ポッカキリンビバレッジ協賛)、高山市、武豊町(知多半島春の音楽祭)、セントレア空港音楽祭などで開催させて頂きました。

「スタジオのレッスンで学んだことをステージの上で磨きをかける」、この繰り返しの中で明日の音楽シーンを担う若者たちが育ってくれることを願っています。

ミュージカルコース 教授 森泉博行

アートマネジメントコース

2012年に「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」が成立しました。この法律には芸術運営を担うアートマネジメント人材の育成が必死であることが述べられていました。コースの運営者たちは、この法律の理念や理想や目標にすべての願いをかけました。それから4年が経ち、2015年度は新しいカリキュラムがすべての学年で実施され、旧カリキュラムとの同居という不自然なコース運営から解放されることになりました。いわば、コース全体が一丸となって理想の教育を施すことができるようになったわけです。学生たちも、新カリキュラムの最初の学年である4年生が、後輩たちに後ろ姿を立派に見せています。そして後輩たちは、先輩の後ろ姿を気持ち良く見つめています。

ある意味で、学生たちの学習活動を推進させ、目標を与えているのが、この「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」だった訳です。やっと授業を行う者と授業を受ける者の関係に必然性が生まれたのです。図書館には図書館法が付属して図書館の役割が明示され、国家資格を持った司書がその任を負ってきましたし、また美術館・博物館にも博物館法がその役割を公に謳い、やはり国家資格を持った学芸員がその仕事を行ってきました。しかしながら公立文化施設の大部分を占める劇場や音楽堂(ホール)には、これまで専門の法律も、さらに資格を持った専門家もいませんでしたが、この「劇場法」が成立したことにより、やっと文化施設の担う文化振興の重要性が認識され、かつその任務が明確になり、そしてそのための予算も認められることになりました。こうしたアートマネジメントにとって好ましい風を受けて、これからも理想の教育を追求していきたいとスタッフ一同が思っています。どうぞご協力を頂きますようお願いする次第です。

アートマネジメントコース 教授 山田 純

ジャズ・ポップスコース

ジャズ&ポップスコースでは、3月19日(木)に「第7回卒業演奏会」を東キャンパス3号館ホールで開催し、卒業生と在籍生、そして教員によるセッションで演奏を行なった。6月13日のオープンキャンパスでは、ミュージカルコースと一緒にセッションを披露し、生バンドによる演奏が様々なミュージカルシーンを盛り上げていた。7月23日には、恒例のロビーコンサートが2号館ロビーで行なわれ、地域からも聴衆が集まり、学生は緊張の中にも達成感を感じる内容であった。

ジャズ・ポップスコース 教授 竹本義明

エンターテインメントディレクションコース

この4月から、エンターテインメントディレクションコースという新コースが誕生しました。第一期の入学学生は25名でした。このコースは「音楽のあるステージ」を創り上げるスタッフやクリエイターを養成するコースで、演出家、照明デザイナー、音響デザイナー、ステージデザイナーなどを目指す学生たちが実践と理論の両面から、新しいステージ創作の方法論を学んでいます。

そして、このコースの最大の特徴はミュージカルコースをはじめとする他コースとのコラボレーションにあります。スタッフを養成する「場所」は幾つもありますが、バンド、ダンサー、シンガー、アーティストとのコラボレーションの中でステージ創りを学べるのは名古屋芸術大学のエンターテインメントディレクションコースだけです。

この6月にはミュージカルコースとのコラボレーションで『世界で最も楽しい天気予報』というショーを創り上げました。企画、構成、演出、照明、音響の全てをエンターテインメントディレクションコースの学生たちが担当しました。このコースの誕生によって名古屋芸術大学のパフォーマンスは更に向上するものと思われれます。

若いクリエイターたちの創り出す斬新なショーの世界、足をお運び頂けましたら幸いです。

エンターテインメントディレクションコース

教授 森泉博行

《演奏学科・音楽文化創造学科》

音楽総合コース

後援会の皆様の日頃からの温かいご支援に、幾重にも感謝を致しております。

本学も、社会のニーズに合致した音大の姿を模索しつつ、画期的なアイデアを形にして世にご提案させて頂いてきております。今年度は何と申しましても『エンターテインメント・ディレクション・コース』開設で、若者たちからの支持を得て新たな学生層を獲得するに至りました。「芸術大学」として「アート」をどのように考え、捉え、それを如何に世の中に形にして還元していくのか…本学の姿勢や歩みは、常にこうした開拓精神に溢れたものであった、と申しても過言ではございません。そうした本学の精神を一番体現しているのは、この『総合コース』ではないかという気が致します。専攻を決めずとも音楽を愛する気持ちとやる気が有れば、自らを成長させ得る可能性に満ちている「フロンティア・コース」と異名もとれるような総合コースには、毎年の事ながら、色々な学生が入ってきてくれて、名芸そのものを今年も活気づけてくれております。

かつては泊りがけのキャンプの形で行っておりました4月頭の総合コース履修登録ガイダンスも、ここ2年は1日で本学キャンパスにおいて、という形で行ってあります。今年も親睦を深めつつ、無事に終了し動き始め、前期は何か無事に過ぎました。この履修登録でも感心してしまうのは、学生の協力のクオリティーの高さです。いわゆる総合コースの「先輩方」の新入生に対するフォローです。履修登録ガイダンスには専任教員、事務の関連部署からの方々の他に総合コースの上級生がヘルプで参加してくれます。彼ら彼女らは自分たちが身を以って経験した事とみえて、新入生に文字通り「親身」に相談にのり、リラックスした雰囲気を作りながらも、キメ細かく助言をしてくれている姿に感動すら覚えるほどです。各方面から耳にすることですが、本学は実に「良い子が多い」です。新入生が、ともすると難しい総合コースの時間割作り…基本的に学生らが自ら決めて作る…が上手くいって前期を無事に過ごせたり、先も見えるようになって不安が多少でも減ったのだとすれば、先輩たちのお陰という部分は小さくありません。私は個人的にですが、こういう学生らを誇りに思います。

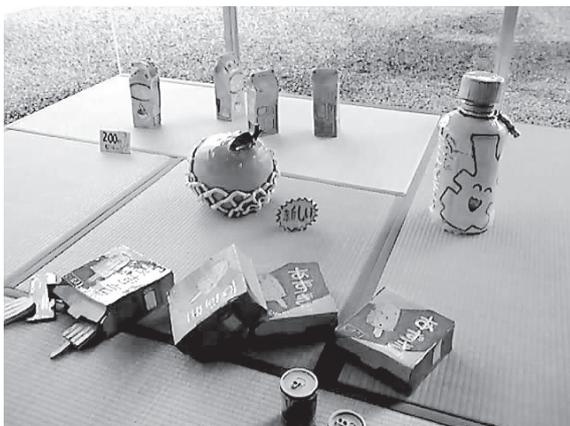
面談を行って思うことですが、今年度の3年生には、正規の専門コース(この子は声楽でしたが)から、敢えて総合コースに転科した例も有りました。この学生に理由を尋ねると、曰く「勉強したいことが山ほど有る。総合ならコース毎の科目の縛り関係なく受講でき、それが単位にもなる。」のだそうです。いやはや、総合コースの熱さときたら、昨今の中部地方の夏をも凌ぐくらいでは?とも思ってしまうのです。

音楽総合コース 准教授 鷹野雅史

浜砂の祭典」に、北名古屋市の代表として砂像制作を行ってきました。今年で3年目となります。

* 県営名古屋空港の出発・到着ロビーに、季節ごとのディスプレイを継続して実施しています。

* 清須市はるひ美術館との連携事業で、清須市図書館畳ギャラリーに、季節ごとの作品展示を行っています。今年度は、4～6月に山下千賀子のフィギュア（2014年度卒展出品作品の一部）、7～9月にアリス・スチュワードソンの陶のオブジェ（2014年度ブライトン大学からの留学生）を展示。



アリス・スチュワードソン 作品

* 3月から9月まで、本学と常滑市との協定事業の一環で、常滑市立鬼崎南小学校の図工室改修に関する鑑賞授業と改修のためのワークショップを実施しました。3年生と6年生を対象に、鑑賞授業から子どもたちによる制作、そして学生たちによる図工室改修までの一連の事業となりました。

* 16年間継続している附属クリエ幼稚園年長園児対象の造形クラスを、9月上旬に4日間実施しました。年長2クラスの全園児が版画工房等でエッチング、リトグラフ、紙漉などの実習を行いました。

* 知的障害者支援センター「エゼル福祉会」の利用者、職員によるケーキ、焼き菓子等の販売協力を、今年度も隔週実施しています。ランチタイム前に、西キャンパスカフェテリア前で、学生数名が手伝って販売しています。告知ポスターの制作も学生が行っています。

* 知的障害者支援センター「さふらん生活園」（名古屋市中区）の利用者が描いた絵等の商品化のために、シルクスクリーンによるTシャツやベビー服などへのプリント技術の指導を、本学で実施継続中です。

* 夏休みの清須市はるひ美術館主催の「清須キッズ・アートラボ」を今年度も実施しました。小学3・4年生15名が版画工房でドライポイントとコラージュ作品の制作を行いました。

* 北名古屋市教育委員会との連携事業で、アートクリエイターコースが窓口となり、旧加藤邸アートプロジェクト2015「記憶の庭で遊ぶ」を実施しています。展覧会は11月中旬に開催します。



2014年「記憶の庭で遊ぶ」より

* 名古屋市文化振興事業団との連携事業で、名古屋市東文化小劇場で12月に開催される朗読会の舞台美術制作を担当し、まもなく制作に入ります。

* 8月に、木祖セミナーハウスに宿泊して、木祖村の畜産農家4軒と村役場に3・4年9名が、インターシップに出かけました。また、木曽ユネスコ協会、木祖村役場主催で毎年実施している東日本大震災の被災地の小学生を招いて実施している「バンドーラ（弦楽器）制作ワークショップ」のアシスタントとして、今年度は6名の1～3年が参加しました。

木祖セミナーハウスをよく活用して木祖村の地方創生に貢献してきたアートクリエイターコースとしては、木祖セミナーハウスの閉鎖決定に、今後の宿泊拠点をどうすればよいか頭をかかえています。

美術学部 教授 西村正幸

デザイン学部

秋雨前線が早くも次の季節の到来を告げ、まもなくキャンパスに再び学生たちの活況が戻る時期となりました。デザイン学部では今春178名の新生を迎え、そして念願であった専任実技教員2名(臼井拓郎講師、丸岡慎一講師)の充足をかなえ、新年度を力強くスタートさせることができました。

以下に前期で行われた教育研究活動のいくつかを取り上げご報告させていただきます。

まず4月、昨年度海外研修助成を受けられ渡英されていた扇千花教授による帰朝報告が行われました。University for Creative Arts, Farnhamに客員教授として滞在期間中に、羊牧場に住まいを借り実施されたウールに関わる詳細な現地リサーチ等の研究成果を「ヨーロッパのテキスタイル」と題して講義されました。(写真1)また同月、既に恒例となりました新生を対象としたフレッシュマンキャンプをワークショップ形式にて本学体育館にて実施し、活気溢れる競作の中で新生間、あるいは学生と教員・助手との交流が深められました。(写真2)

本学部ではまた、教育活動への新鮮な刺激をもたらす特別客員教授の招聘にも特に力を注いで参りました。今年度も英国からのポール・ブリストマン氏をはじめ、若林剛之氏、ダニエル・シボス氏、加藤道哉氏、檜原由比子氏の5氏を招聘し、講義、ワークショップ等多くの関連企画が計画されています。去る6月にはその先陣をきって「おでんくん」等のユミークな作品の撮影監督としても広く知られる加藤道哉教授による特別講義が行わ

れ、近作の「ナンダカペロニカ」等を例にあげながら、撮影監督の仕事、作品の制作過程、VFX技術等についてご紹介頂きました。(写真3)

この他、来春で市制施行10周年を迎える北名古屋市より、これを記念するロゴマーク及びキャッチフレーズ作成の依頼を受け、市との連携事業の一環として学部内でのコンペを開催致しました。学内での1次審査、市役所での最終審査を経て、VDコースの学生グループによる作品がグランプリに選出され、今後は関連グッズをはじめ、さまざまな記念行事、印刷物等で広く活用される運びとなっています。(写真4・5)

本学部ではここでご紹介致しました他にも学内外を問わず多様な教育研究活動の取組みを行っておりますが、紙面の都合その一部をここでご紹介させていただきます。

最後となりましたが、去る8月23日に落合紀文教授(前学部長)が永眠されました。先生は昨秋より体調を崩され病気療養中でございましたが、年度内には快癒し大学に復帰されるものとお聞きしておりましただけに、この突然の訃報に教職員はじめ関係者一同大きな悲しみに包まれました。先生は昭和53年に本学ご着任以来、37年余にわたり多くのグラフィックデザインに関わる制作活動はもとより、教育研究活動全般の発展に尽力され、本学を現在の中部圏における中核美大にまで押し上げた功労者のおひとりでございました。この場をお借りしまして、改めて落合紀文先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

デザイン学科長 教授 萩原 周



写真1：扇教授が英国研修中に滞在された羊牧場の風景(4/11 西キャンパスB棟大講義室)



写真2：“より高く”を合言葉に制作に集中する学生たち(4/18 西キャンパス体育館)



写真3：自作を示しながら行われる加藤道哉特別客員教授による特別講義(6/18 西キャンパスB棟視聴覚室)



写真4：北名古屋市市制施行10周年のロゴマーク&キャッチフレーズコンペの学内1次審査会の様子(6/24西キャンパスB棟大講義室)



写真5：最終プレゼンテーション審査でグランプリに選ばれた作品(制作：VDコース3年城泉水、甘粕友貴、田口佳世子、土松由衣)(7/13 北名古屋市役所西庁舎)

人間発達学部

芸術大学の中のOnly oneの人間発達学部をめざして

2007年に名古屋芸術大学の人間発達学部が創設されてから、今年で9年目を迎えます。人間の成長に喩えて言えば、無事育つかどうかかわからない不安定な幼児期及び児童期前期を脱して、これから一人前のたくましい大人へと育てていく発達段階にやっと到達しつつあるといったところでしょうか。これまでの学部の育ちを外部から支えていただいた後援会の皆様には、心よりお礼申し上げます。

さて、学部の近況を簡単にご紹介しますと、今年度は、全学年で463名の学生が在籍し、子ども発達学科16名、教養担当4名の学部専任教員がその教育にあたっております。本学部の教員の「面倒見のよさ」は名古屋地区の他大学類似学部のいずれにも負けないと自負していますが、そのためもあってか、幸い、昨年度も就職率は96%と高い数字を維持することができました。まだまだ、小学校採用試験や自治体の保育士試験の合格率をいっそう引き上げていくという課題はありますが、こと就職率に関しては、ほぼ学生の希望がかなう状況を実現しております。

しかし、将来を展望すると、安閑としてはいただけません。巷でささやかれている「2018年問題」が、もう間近に迫っているからです。ご承知かと存じますが、2018年からは18歳人口が大きく減少し、学生確保をめぐる大学間の競争はいっそう熾烈になっていくと予想されます。また、比較的高水準で推移してきた小学校教員の新卒採用数も、団塊の世代の大量定年退職が終わる結果、2018年以降は大幅に減少していきます。

こうした厳しい状況を前にして、人間発達学部としても生き残りを賭けて、いっそうの努力が必要とされています。既に今年度からカリキュラム改革にも着手していますが、芸術系大学の中にある保育・教育系学部としての、他にまねのできない、文字通り「Only one」の特色を備えた学部へと脱皮していく所存ですので、引き続きいっそうのご支援をお願いする次第です。

人間発達学部長 教授 加藤義信



■2015年度学生数

2015年5月1日現在 **総学生数 2,107人**

学 部	学 科	1 年			2 年			3 年			4 年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
音 楽 学 部	演 奏 学 科	8	37	45	8	45	53	9	43	52	13	68	81	231
	音楽文化創造学科	36	47	83	19	38	57	8	32	40	24	36	60	240
	音楽学部小合計	44	84	128	27	83	110	17	75	92	37	104	141	471
美 術 学 部	美 術 学 科	25	72	97	24	62	88	22	69	91	17	84	101	375
	美術学部小合計	25	72	97	24	62	88	22	69	91	17	84	101	375
デザイン学部	デザイン学科	56	129	185	52	138	190	44	135	179	44	135	179	733
	デザイン学部小合計	56	129	185	52	138	190	44	135	179	44	135	179	733
人間発達学部	子ども発達学科	25	78	103	27	69	96	45	99	144	41	78	119	462
	人間発達学部小合計	25	78	103	27	69	96	45	99	144	41	78	119	462
学 部 生 合 計		—	—	513	—	—	484	—	—	506	—	—	540	2041

研 究 科	1 年			2 年			合計
	男	女	計	男	女	計	
音 楽 研 究 科	7	4	11	2	4	6	17
美 術 研 究 科	1	11	12	7	11	18	30
デザイン研究科	3	0	3	4	3	7	10
人間発達学研究科	0	3	3	2	4	6	9
大 学 院 生 合 計	—	—	29	—	—	37	66

学生部報告

後援会の皆様には、平素から名古屋芸術大学に多大なご支援とご尽力を賜り、心よりお礼申し上げます。

名古屋芸術大学は、本年で創立45年を迎え、5年後には半世紀になります。その間、多くの卒業生を輩出しましたが、卒業生が大学や大学院の学業を離れて、社会の多分野で活躍しているとの声が現在、数多く寄せられており、心から喜んでおります。これからも本学は、高等教育の社会的責任を十分に認識しながら、学生の芸術と教育における自己研鑽を指導し、彼らを前途有為な若者として社会に送り出していきたいと考えております。皆様方にはどうか、大学に対して様々なご意見を聞かせていただけますようお願いいたします。

さて2015年度は、特にキャリア教育の充実をして、カリキュラムの変更をいたしました。従来、高校での学びと大学での学びが異なる点から、新入生が修学上で混乱をきたし、慣れるのに時間を要するということがありました。そのために今年度から、全新生生に対する必修科目として、「大学生になる一名芸大で学ぶということ」という科目を総合教育科目の中に新設し、大学で学ぶ意義を伝え、授業の受け方やレポートの書き方を教え、プレゼンテーションの仕方を指導することにしました。

また、本学の教育系を含む総合芸術大学という特性を生かして、音楽・人間発達・美術・デザインのそれぞれの学部での学習について学び、コンサートホールや楽器

室、色々な工房、「子育てセンター」、図書館などを見学するというキャンパスツアーを含めました。新入生がこのスタート授業を基礎として、充実した4年間の学びに入っていくことを期待しています。さらに、学生の支援授業として、卒業後に社会で求められる能力を養うことを目的として、同じ総合教育科目内に「キャリア1」という科目を置きました。前期では、一般社会で求められる〈チームとして協同する力〉〈企画力〉〈プレゼンテーション力〉を学び、後期は、教育現場で必要とされる〈問題解決力〉〈プレゼンテーション力〉を涵養します。いずれも、学生が主体的に議論し、課題の解決を目指す、演習型の授業です。加えて、コンピュータ・ソフト(ワード、エクセル、パワーポイント)の活用に習熟する「情報リテラシーI」も設けました。このようにキャリア教育の重視の立場から、授業科目を追加しました。

そして今年度から、学生の「授業アンケート」結果について教員側の回答を求めることを、FDS委員会決定し、実施しております。評価に対する教員側の見解や改善などを盛り込んだものとして、教育・研究上の質的向上を目指していきたいと考えております。

本学は今後も、つねに高等教育機関の一員であることの責任を自覚し、ご父兄の皆様の期待に応え、社会に対して貢献していこうと、決意を新たにしています。今後とも、よろしくお願いいたします。

学生部長 教授 橋本裕明

大学へのお問合せ先一覧

内 容	担当部署	電話番号	
学納金(学費)について	庶務会計課	東キャンパス (音楽学部・人間発達学部) 0568-24-0315 (代)	
成績について 証明書発行について	教務課		
休学・退学について 課外活動・大学祭等について 住所変更等について 就職について 資格取得講座について アルバイトについて その他学生生活全般について	学生支援課		
本学入試に関すること 本学大学院進学について 本学研究生・研修生について	広報入試課		
教員免許・学芸員資格について	教職センター(実習指導室)		
交換留学について	国際交流センター(学生支援課)		
生涯学習講座について	生涯学習センター(学院広報室)		0568-24-0359 (直通)
音楽学部主催の演奏会等について	演奏課		東キャンパス 0568-24-5141 (直通)
アート&デザインセンターで開催 する展覧会について	アート&デザインセンター		西キャンパス 0568-24-0325 (代表)
後援会について	事務局(事務部長)		東キャンパス 0568-24-0315 (代表)

大学事務局で保護者の方からのご質問やご相談にお応えする場合、以下のような確認をさせていただく場合があります。特に個人情報が含まれる内容に関しては、ご子女の「学籍番号」の確認、本人の確認、保護者の確認を行った後、ご質問やご相談にお応えします。大学に登録されている情報と異なる場合は、お問合せに応じることができませんので悪しからずご承知おください。

なお、連絡先等を変更された場合は、お手数でも変更の手続きをなされますようお願いいたします。変更の手続きが行われなければ本学からのお知らせや成績等をお届けすることができなくなります。

就 職 セ ミ ナ ー の 紹 介

学生一人ひとりの将来の夢や希望を尊重し、教員と連携をとりながら全員が希望通りの就職・進学ができるように支援を行っていますので、気軽に利用してください。

※就職課では学年にかかわらず将来の進路について相談をすることができます。

2015年度 就職対策・キャリア支援行事予定表

《音楽学部》

月	学年	講 座 内 容	対 象
テ ー マ シ ョ ン	2年生	全体進路準備ガイダンス	
	3年生	全体就職ガイダンス	
	4年生	全体就職ガイダンス	
4	全学年	カワイ音楽講師・グレード試験学内説明会	音楽講師希望者
	3・4年生	作文添削	
	4年生	面接対策講座 総復習	
5	全学年	第1回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		システム講師ヤマハグレード試験、ヤマハ大人の音楽レッスン講師学内説明会	音楽講師希望者
	3年生	自己分析テスト(キャリアアプローチ)	
	3・4年生	作文添削	
	4年生	教員採用試験全体説明会	教員採用試験受験者全員
教員採用試験説明会 願書記載方法及び説明		愛知県受験者	
教員採用試験説明会 名古屋市・岐阜県・三重県 教育委員会による説明会		名古屋市・岐阜県・三重県受験者	
面接対策講座 総復習			
6	全学年	第2回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
	3年生	業界・業種研究 インターンシップについて	
		音楽学部生が考える就職・進路選択① 就職模擬試験(一般常識テスト)	
7	2・3・4年生	新聞の読み方ガイダンス	
	3年生	就職模擬試験(一般常識テスト) テスト結果返却&フォローガイダンス	
	4年生	グループディスカッション練習	企業希望者
夏 季 休 暇	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講座受講希望者
10	3年生	音楽学部生が考える就職・進路選択②	
		就職活動の基本	
		履歴書の書き方	
4年生	講師登録説明会・特別支援学校説明会	教員希望者	
11	全学年	作文添削	
	2・3年生	作文対策講座	
		就職模擬試験(SPI)	
	3年生	就職活動・就職後に必要な基礎知識ガイダンス 就職活動のマナー・ルール・手紙	教員希望者
12	全学年	作文添削	
	1・2年生	小学校教員資格認定試験説明会	教員希望者
	3年生	就職活動の進め方【教員希望者編】	教員希望者
1	全学年	第4回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	面接対策講座・模擬面接 就職活動の進め方【実践編】	
春 季 休 暇	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講座受講希望者
通 年	4年生	ハローワーク訪問	企業希望者

《美術学部・デザイン学部》

月	学年	講座内容	対象
4	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(就職活動における今後のスケジュール)	美術学部・デザイン学部
5	全学年	第1回就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
	2・3年生・大学院1年生	夏季インターンシップ<ガイダンス授業>・春季インターンシップ<事後研修>	インターンシップ参加者
		夏季インターンシップ<業種・職種・企業研究/実習エントリーシートの作成>	インターンシップ参加者
		夏季インターンシップ参加申込受付	インターンシップ参加者
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(就職活動の流れ・インターンシップ)	美術学部・デザイン学部
4年生・大学院2年生	教員採用試験学内説明会	美術学部・デザイン学部	
6	全学年	第2回就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(就職適性・自己分析テストの実施)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座①)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座②)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座③)	美術学部・デザイン学部
7	全学年	就活のためのスーツ着こなし・メイク講座	美術学部・デザイン学部
		4年生による就職活動経験パネルディスカッション	美術学部・デザイン学部
		キャンパスメイク講座①	美術学部・デザイン学部
		キャンパスメイク講座②	美術学部・デザイン学部
		キャンパスメイク講座③	美術学部・デザイン学部
	2・3年生・大学院1年生	夏季インターンシップ<ビジネスマナー講習(事前研修)>	インターンシップ参加者
4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(ハローワーク説明会・就職活動リスタート)	美術学部・デザイン学部	
8 9	全学年	各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者
	2・3年生・大学院1年生	夏季インターンシップ研修実施	インターンシップ参加者
9	全学年	第3回就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(求人の見方・エントリーシートの書き方)	美術学部・デザイン学部
10	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(エントリーシート攻略テスト)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(適性試験対策)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(SPI模擬試験テスト)	美術学部・デザイン学部
	4年生・大学院2年生	非常勤講師登録説明会	美術学部・デザイン学部
11	2年生	キャリアガイダンス(就職活動の流れなど)	インターンシップ参加者
		キャリアガイダンス(美術デザイン業界・職種など)	インターンシップ参加者
		キャリアガイダンス(ポートフォリオのまとめ方)	インターンシップ参加者
	2・3年生・大学院1年生	春季インターンシップ<ガイダンス授業>・夏季インターンシップ<事後研修>	美術学部・デザイン学部
		春季インターンシップ<業種・職種・企業研究/実習エントリーシートの作成>	美術学部・デザイン学部
		春季インターンシップ参加申込受付	美術学部・デザイン学部
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(広告Webマスコミ業界研究)	美術学部・デザイン学部
4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(キャリア&マネープラン 卒業後の仕事とお金に関する知識)	美術学部・デザイン学部	
12	1年生	キャリアガイダンス(企業講演会)【ベネッセ】	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(ビジネスマナー講座)	美術学部・デザイン学部
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(面接試験対策)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(SPI模擬試験テスト説明会)	美術学部・デザイン学部
1~3	全学年	各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者
1	全学年	第4回就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
	2・3年生・大学院1年生	春季インターンシップ<ビジネスマナー講座(事前研修)>	インターンシップ参加者
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(就職活動の進め方・就職ナビの活用)	美術学部・デザイン学部
	4年生・大学院2年生	求人フェア(未内定学生へ就職先の紹介等)	美術学部・デザイン学部
2~3	2・3年生・大学院1年生	春季インターンシップ研修実施	インターンシップ参加者
2	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(解禁直前 スタート講座)	美術学部・デザイン学部
	4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(ハローワーク登録会)	美術学部・デザイン学部
4	新4年生・新大学院2年生	就職活動オリエンテーション	美術学部・デザイン学部
		学内企業説明会	美術学部・デザイン学部
5	新3・新4年生・新大学院2年生	春季インターンシップ<フォローアップ授業(事後研修)>	インターンシップ参加者

《人間発達学部》

月	学年	講 座 内 容	対 象
テ ー リ ン グ	2年生	全体進路準備ガイダンス	
	3年生	全体就職ガイダンス	
	4年生	全体就職ガイダンス	
4	2・3年生	公務員採用試験対策講座	公務員希望者
		教員採用試験対策講座(小学校全科)説明会	小学校希望者
	3・4年生	作文添削	
	4年生	公務員(保育職)試験説明会	公務員希望者
面接対策講座 総復習			
5	全学年	第1回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
	3年生	自己分析テスト(キャリアアプローチ)	
	3・4年生	作文添削	
		教員採用試験全体説明会	教員採用試験受験者全員
	4年生	教員採用試験説明会 願書記載方法及び説明	愛知県受験者
		教員採用試験説明会 名古屋市・岐阜県・三重県 教育委員会による説明会	名古屋市・岐阜県・三重県受験者
教員採用試験模擬試験/保育士模擬試験		小学校/幼・保希望者	
		面接対策講座 総復習	
6	全学年	第2回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
	3年生	業界・業種研究 インターンシップについて	
		自己分析テスト(キャリアアプローチ)の返却・解説	
		就職模擬試験(一般常識テスト)	
	3・4年生	作文添削	
	4年生	教員による進路別 面接対策	
		愛知県私立幼稚園連盟統一試験学内説明会	幼・保希望者
愛知県私立幼稚園連盟統一試験模試		幼・保希望者	
		私立幼稚園教員採用説明会(PRキャラバン隊)	幼・保希望者
7	2・3・4年生	新聞の読み方ガイダンス	
	3年生	就職模擬試験(一般常識テスト) テスト結果返却&フォローガイダンス	
	4年生	夏期休業期間中の就職活動について	幼・保(施設)希望者
グループディスカッション 実践練習		企業希望者	
8-9	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講座受講希望者
9	全学年	第3回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
	3年生	就職活動の進め方	幼・保希望者
10	3年生	就職活動の基本	企業希望者
		履歴書の書き方	
	4年生	講師登録説明会・特別支援学校説明会	小学校希望者
11	全学年	作文添削	
	2・3年生	作文対策講座	
		内定者の話を聞く会(仮)	
		就職模擬試験(SP1)	
3年生	就職活動・就職義に必要な基礎知識ガイダンス		
	就職活動のマナー・ルール・手紙		
12	全学年	作文添削	
	2・3年生	卒業生の話を聞く会(仮)	
	3年生	就職活動の進め方【実践編】	小学校希望者
1	全学年	第4回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	面接対策講座・模擬面接	
就職活動の進め方【実践編】		幼・保希望者/企業希望者	
春季 休暇	3年生	教員採用試験模試/保育士模試	小学校/幼・保希望者
	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講座受講希望者
通年	4年生	ハローワーク訪問	企業 希望者

2015年度 年間行事予定表【音楽学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	水	入学式
	2	木	オリエンテーション(4/2~4/7)
			↓
	7	火	健康診断
	8	水	前期授業開始
	29	水	昭和の日 授業日
	30	木	休校 臨時休校日
5月	1	金	休校 開学記念日
	2	土	休校 臨時休校日
	4	月	休校 みどりの日
	5	火	休校 こどもの日
	6	水	振替休日
	17	日	後援会総会・教育懇談会
	6月	1	月
13		土	オープンキャンパス
20		土	↓
24		水	前期実技試験曲目提出期間(6/24~7/7)
			↓
7月	7	火	↓
	20	月	海の日 授業日
	29	水	試験期間(7/29~7/31)
			↓
	31	金	音楽実技試験(7/31~8/1)
8月	1	土	↓
	2	日	音楽講習会(8/2~8/5)
	3	月	音楽講習会(8/3~8/7)
			↓
	5	水	↓
	7	金	↓
	17	月	集中講義期間(8/17~8/20)
	18	火	前期試験合否発表(13:00)
	20	木	↓
	21	金	追再試験(8/21~8/25)
9月	25	火	↓
	31	月	前期追再試験合否発表(13:00)
	17	木	後期履修登録
	18	金	後期授業開始
	21	月	敬老の日 授業日
	22	火	休校 国民の休日
	23	水	休校 秋分の日
26	月	オープンキャンパス	

月	日	曜日	後期行事予定	
10月	4	日	AO入試	
	7	水	前期卒業式	
	12	月	体育の日 授業日	
	15	木	防災訓練	
	23	金	芸大祭(10/23~10/25)	
			↓ ※休講	
	25	日	↓ ミニオープンキャンパス	
	26	月	芸大祭後片付け ※休講	
	11月	3	火	文化の日 授業日
		7	土	推薦A入試、指定校・3年編入A入試
23		月	勤労感謝の日 授業日	
26		木	後期実技試験曲目提出期間(11/26~12/9)	
			↓	
12月	5	土	大学院A日程入試	
	9	水	↓	
	23	水	天皇誕生日 授業日	
	24	火	音楽講習会(12/24~12/27)	
			↓ 補講集中講義期間(12/24~12/26)	
	26	土	↓	
	27	日	↓	
	28	月	冬期一斉休業期間(閉校)(12/28~1/3)	
1月	3	日	↓	
	11	月	休校 成人の日	
	19	火	実技試験期間(1/19~1/21)	
			↓	
	21	木	↓	
	22	金	後期試験期間(1/22~1/26)	
	26	火	↓	
2月	1	月	補講集中講義期間(2/1~2/3)	
			↓	
	3	水	↓	
	5	金	一般A日程・社会人・留学生・3年編入後期試験	
	8	月	後期試験合否発表(13:00)	
	11	木	休校 建国記念の日	
	12	金	追再試験(2/12~2/16)	
			↓	
22	火	追再試験合否発表(13:00)		
3月	2	水	卒業判定会議	
	5	土	オープンキャンパス	
	8	火	研究生入試	
	9	水	進級判定会議	
	21	月	卒業式	
	25	金	B日程・社会人・留学生・大学院B日程入試	
	26	土	新年度オリエンテーション予定(3/26~3/28)	
			↓	
28	月	↓		

2015年度 年間行事予定表【美術学部・デザイン学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	水	入学式
	2	木	オリエンテーション(4/2~4/7)
	4	土	新入生歓迎会
	}		
	7	火	
	8	水	前期授業開始
	29	水	昭和の日 授業日
	30	水	休日 臨時休校日
5月	1	金	休日 開学記念日
	2	土	休日 臨時休校日
	3	日	休日 憲法記念日
	4	月	休日 みどりの日
	5	火	休日 こどもの日
	6	水	振替休日
6月	13	土	オープンキャンパス
7月	19	日	オープンキャンパス
	20	月	海の日 授業日
	25	土	AO入試第1回体験授業
	29	水	レポート提出期限・試験期間(7/29~7/31)
	}		
31	金		
8月	1	土	AO入試第2回体験授業
	2	日	一日芸大生
	3	月	前期補講・集中講義期間(8/3~8/7)
	}		
	7	金	
	17	月	集中講義期間(8/17~8/20)
	18	火	前期試験合否発表
	}		
	20	木	
	21	金	追再試験(8/21~8/25)
	}		
25	火		
29	土	AO入試	
31	月	追再試験合否発表	
9月	16	水	後期オリエンテーション
	17	木	後期WEB履修登録
	18	金	授業開始
	21	月	敬老の日 授業日
	22	火	国民の休日
	23	水	秋分の日
	26	土	オープンキャンパス
	30	水	前期卒業判定会議

月	日	曜日	後期行事予定	
10月	7	水	前期卒業式	
	12	月	体育の日 授業日	
	23	金	芸大祭(10/23~10/25)	
	}			
	25	日	↓ ミニオープンキャンパス	
	26	月	芸大祭後片付け	
11月	3	火	文化の日 授業日	
	7	土	大学院Ⅰ期・3年編入Ⅰ期入試	
	8	日	推薦入試	
	22	日	休日 学院創立記念日	
12月	23	月	勤労感謝の日 授業日	
	5	土	地域入試(浜松・金沢)	
	12	土	地域入試(沖縄・高知・長崎)	
	19	土	自己推薦入試	
	23	火	天皇誕生日 授業日	
	24	木	後期補講・集中期間(12/24~12/26)	
	}			
	26	土	↓	
	28	月	臨時休校日	
	29	火	冬期一斉休業期間(閉校)(12/29~1/2)	
1月	2	土	↓	
	4	月	後期授業開始	
	11	月	休日 成人の日	
	19	火	後期補講・集中期間(1/19~1/21)	
	}			
	21	木	↓	
	22	金	後期試験期間(1/22~1/26)	
	}			
	26	火	↓	
	27	水	後期補講・集中期間(1/27~2/3)	
	2月	}		↓
		3	水	↓
		5	金	A日程入試(2/5~2/6)
6		土	↓	
8		月	後期試験合否発表	
9		火	3年編入Ⅱ期入試・社会人入試	
11		木	研修生入試・大学院Ⅱ期入試 建国記念日	
12		金	後期追再試験(2/12~2/16)	
3月	}		↓	
	16	火	↓	
	18	木	後期追再試験予備日	
	22	月	後期追再試験合否発表	
	2	水	卒業判定会議	
	9	水	進級判定会議	
	14	月	転学部・転科転コース、研究生入試	
	20	日	春分の日 祝日	
21	月	卒業式 振替休日		
25	金	B日程入試		

2015年度 年間行事予定表【人間発達学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	水	入学式
	2	木	オリエンテーション(4/2~4/7)
		}	
	6	月	新入生宿泊オリエンテーション(4/6~4/7)
	7	火	健康診断
	8	水	前期授業開始
	29	水	昭和の日 授業日
	30	木	休校 臨時休校日
5月	1	金	休校 開学記念日
	2	土	休校 臨時休校日
	4	月	休校 みどりの日
	5	火	休校 こどもの日
	6	水	振替休日
	14	木	文化創造セミナー
	17	日	後援会総会・教育懇談会
6月	13	土	オープンキャンパス
7月	18	土	オープンキャンパス
	20	月	海の日 授業日
	29	水	試験期間(7/29~7/31)
		}	
	31	金	
8月	3	月	集中講義期間(8/3~8/7)
		}	
	7	金	
	17	月	集中講義期間(8/17~8/20)
	18	火	前期試験可否発表(13:00)
		}	
	20	木	
	21	金	追再試験(8/21~8/25)
	22	土	オープンキャンパス
		}	
	25	火	
	31	月	前期追再試験可否発表(13:00)
9月	6	日	AO入試
	11	金	後期履修登録3・4年生
	14	月	後期履修登録1・2年生
	15	火	3年生補講開始
	18	金	後期授業開始
	19	土	公開講座
	21	月	敬老の日 授業日
	22	火	休校 国民の休日
	23	水	休校 秋分の日
	26	土	オープンキャンパス
	28	月	教育実習 (幼稚園 9/28~10/17) (小学校 9/28~10/24)
		}	
	30	水	

月	日	曜日	後期行事予定
10月	4	日	大学院一次入試・AO入試
	7	水	前期卒業式
	12	月	体育の日 授業日
	15	木	防災訓練
	23	金	芸大祭(10/23~10/26)
		}	※休講
	25	日	ミニオープンキャンパス
	26	月	芸大祭後片付け ※休講(3年生は補講日)
11月	3	火	文化の日 授業日
	7	土	推薦A入試、指定校・3年編入A入試
	23	月	勤労感謝の日 授業日
	28	土	推薦B入試、社会人入試
12月	5	土	大学院二次試験
	23	水	天皇誕生日 授業日
	24	木	補講集中講義期間(12/24~12/28) 音楽講習会(12/24~12/27)
		}	
	27	日	
	28	月	冬期一斉休業期間(閉校)(12/28~1/3)
		}	
1月	3	日	
	11	月	休校 成人の日
	19	火	補修集中講義期間(1/19~1/21)
		}	
	21	木	
	22	金	後期試験期間(1/22~1/26)
		}	
	26	火	
	27	水	補修集中講義期間(1/27~1/29)
		}	
	29	金	
2月	1	月	補修集中講義期間(2/1~2/3)
		}	
	3	水	
	5	金	一般A入試(2/5~2/6)
	6	土	
	8	月	後期試験可否発表(13:00)
	11	木	休校 建国記念の日
	12	金	追再試験(2/12~2/16)
	13	土	2年生追再試験
		}	
	15	月	保育所実習(2/15~2/28)
	16	火	
	22	月	追再試験可否発表(13:00)
		}	
	28	日	
	29	月	地域活動(小学校体験活動)
3月	2	水	卒業判定会議
	5	土	オープンキャンパス
	8	火	研究生入試
	9	水	一般B・3年編入B・大学院三次・研究生入試 進級判定会議
	21	月	卒業式
	21	土	休校 春分の日
	28	月	新年度オリエンテーション予定(3/28~3/30)
		}	
	30	水	

2015年度 入学式

満開の桜を春雨が濡らす4月1日(水)、2015年度名古屋芸術大学入学式が本学西キャンパス体育館で行われました。

大学院入学生(音楽・美術・デザイン・人間発達学研究科)と学部入学生(音楽・美術・デザイン・人間発達学部)が着席し、その保護者の方々や来賓の皆様をお迎えした会場で、開式に先立ち、名古屋芸術大学ウィンドオーケストラにより、田坂直樹作曲のマーチ「プロヴァンスの風」【指揮：竹内雅一(演奏学科教授)】が式前演奏されました。



歓迎演奏をする名古屋芸術大学ウィンドオーケストラ

定刻を迎え、開式のことばに続いて、竹本義明学長から学部・大学院入学生の「入学許可」が宣言されました。この後、学長が大学を代表して出席者に式辞を述べられました。学長はお祝いの言葉と共に、名古屋芸術大学の教育理念や使命、現代を取り巻く社会情勢と芸術文化の果たすべき役割、そして、それらを踏まえて入学生に期待することなど、激励の言葉を送られました。



入学生代表の宣誓

続いて、入学生代表による宣誓が行われました。大学院を代表して、美術研究科美術専攻の新川恵理さんと、学部を代表して、人間発達学部子ども発達学科の山田香菜さんが力強く宣誓を行いました。この後、本学の設置法人である学校法人名古屋自由学院の理事長、川村大介氏からの挨拶がありました。そして、ご出席の来賓の皆様のご紹介を行い、最後に、本学教員役職者を紹介して式典を終了しました。この後、名古屋芸術大学ウィンドオーケストラによる新入生歓迎演奏が行われました。曲は Philip Sparke 作曲の「Second to None」で、ウィンドオーケストラの力強い音響が会場の隅々まで流れ、芸術大学に相応しい趣のある入学式となりました。

式典終了後は、新入生を対象とした全体オリエンテーションが実施されました。東西両キャンパスの学生支援課長の司会進行で、まず、橋本裕



川村大介理事長祝辞



山田正文氏(左手前)と声楽科卒業生のみなさん

明学生部長から、お祝いの言葉を含め、4年後の自分に向けて大学生生活を充実させ、学年、段階を追ってキャリアガイダンスが行われていること、就職支援講座や資格取得講座を開講していること、学生生活のサポート役として学生支援課があり、個々に合わせた対応をしていること、などが説明されました。

この後、学生支援課より在学証明書・通学証明書などに関する事務連絡がありました。

続いて、各学部の卒業生(同窓会)より、お祝いのメッセージやパフォーマンスが行われました。

美術・デザイン学部卒業生を代表して、同窓会長の中島弘敬氏よりお祝いのスピーチがありました。中島氏はデザイン会社の社長を務めておられます。人間発達学部の卒業生からは、同窓会長の菅野謙一氏より「新入生の皆様へ」と題した祝辞が届けられ、司会者から代読されました。

次に、音楽学部卒業生からは、本学音楽コースの非常勤講師で同窓会長の山田正文氏とその門下生11名による「声楽披露」が行われました。曲目は「オー・ソレ・ミオ(私の太陽)」で、迫力のあるすばらしい歌声が会場いっぱいに響きました。

この後は、体育館常設の大型スクリーンに、デザイン学部メディアデザインコース小塚佐恵さんの卒業制作映像作品が上映されました。本学は東西両キャンパスに分かれていてその距離は1600mあります。このため、キャンパス間の交流がともすると手薄になる傾向にあり、卒業まで一度も他学部のキャンパスを訪れたことが無いという学生もいます。そこで、両キャンパスの中央に位置する「徳重・名古屋芸大」駅のホームを活用して、昨年11月、「名古屋芸術大学つながるあいだプロジェクト」が開催され、その様子を映した映像が公開されました。

この東西両キャンパスの距離を埋めていくのは新入生の皆さんになることを期待してのものでした。

最後は、東西両キャンパスの学生たちのコラボによる『声と絵と音で奏でるここではない「読み聞かせ」』で、朗読と映像と生演奏が一体となった内容でした。題名は「は「読み聞かせ」の映像シーンんぶんこ」と「ダチョーさんとたからさがし」で、2作品が披露されました。朗読は人間発達学部の学生、絵本の作者はデザイン学部の学生、キーボード・ギター・フルートの演奏は音楽学部の学生が担当して、それぞれの特徴を活かした共同作品でした。



■2014年度 音楽学部進路状況

2015年5月1日現在

		演奏		音楽文化創造		合計		総計	
		男	女	男	女	男	女		
就	就職関係	公立学校教員	1	7	2	3	3	10	13
		私立学校教員	0	0	0	0	0	0	0
		その他教育機関(海外等)	0	1	0	0	0	1	1
	小計		1	8	2	3	3	11	14
	福祉関係	福祉施設等(音楽療法士含む)	0	0	0	5	0	5	5
		小計	0	0	0	5	0	5	5
	音楽講師	ヤマハ・カワイ講師	0	4	0	0	0	4	4
		楽器店講師	1	4	1	0	2	4	6
		自宅教室(ピアノ)	0	0	0	0	0	0	0
		自宅教室(他)	0	0	0	0	0	0	0
幼稚園・保育所		0	0	0	0	0	0	0	
小計		1	8	1	0	2	8	10	
音楽家	奏者(フリー)	4	4	7	4	11	8	19	
	ミュージカル・アーティスト	0	0	0	0	0	0	0	
小計		4	4	7	4	11	8	19	
一般企業		1	6	9	10	10	16	26	
各種団体等		0	0	0	0	0	0	0	
小計		1	6	9	10	10	16	26	
公務員	行政職	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	1	0	0	0	1	1	
小計		0	1	0	0	0	1	1	
合計		7	27	19	22	26	49	75	
進学	大学院	2	5	1	0	3	5	8	
	研究生	5	5	0	0	5	5	10	
	海外(留学)	0	2	0	1	0	3	3	
	その他(大学・専門等)	2	2	1	0	3	2	5	
合計		9	14	2	1	11	15	26	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	1	0	0	0	1	1	
	その他	0	2	0	0	0	2	2	
合計		0	3	0	0	0	3	3	
活動中(調査中)	講師登録・その他	0	5	0	1	0	6	6	
合計		0	5	0	1	0	6	6	
総合計		16	49	21	24	37	73	110	

卒業生数(9月卒業なし)	16	49	21	24	37	73	110
就職・進学希望者数	16	46	21	24	37	70	107
就職・進学者数	16	41	21	23	37	64	101
就職・進学率	100%	89%	100%	96%	100%	91%	94%
		92%		98%		94%	

■2014年度 美術学部進路状況

2015年5月1日現在

		日本画コース		洋画1・2コース		立体造形・陶芸・ガラス		造形科工芸選択コース		アートエディターコース・絵画コース		美術文化コース		合計		総計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
就	一般企業等(産業界)	印刷関連(製造業)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	
		工業製品(製造業)	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
		その他美術関連(製造業)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		卸売業・小売業	0	2	0	6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	11	11
		サービス業(デザイン業等)	0	0	1	1	0	1	0	0	1	2	0	0	2	3	5
		その他業種(上記以外)	1	1	1	2	1	1	0	0	1	1	0	1	4	6	10
	作家活動	0	0	3	7	1	2	0	0	1	3	0	0	5	12	17	
	上記以外のその他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	3	
	小計		1	5	5	20	2	3	0	0	3	10	1	2	12	40	52
	就職関係	公立学校教員関係(非常勤含む)	0	1	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6
私立学校教員関係(非常勤含む)		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
小計		1	1	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	2	5	7	
公務員		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
小計		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計		2	6	5	25	3	3	0	0	3	10	1	2	14	46	60	
進学	大学院	1	1	0	8	0	1	0	0	0	1	0	0	1	11	12	
	研究生	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他(専門)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計		1	1	0	8	0	2	0	0	0	1	0	0	1	12	13	
就職希望なし	結婚・家事・自宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	
	その他	1	2	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	2	5	7	
合計		1	2	1	1	0	1	0	0	0	2	0	0	2	6	8	
就職活動中	講師登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	5	3	7	1	0	0	0	2	4	0	2	6	18	24	
合計		0	5	3	7	1	0	0	0	2	4	0	2	6	18	24	
総合計		4	14	9	41	4	6	0	0	5	17	1	4	23	82	105	

卒業生数	4	14	9	41	4	6	0	0	5	17	1	4	23	82	105
就職・進学希望者数	3	12	8	40	4	5	0	0	5	15	1	4	21	76	97
就職・進学者数	3	7	5	33	3	5	0	0	3	11	1	2	15	58	73
就職・進学率	100%	58%	63%	83%	75%	100%	0%	0%	60%	73%	100%	50%	71%	76%	75.3%
		66.7%		79.2%		88.9%		0.0%	70.0%		60.0%		75.3%		

■2014年度 デザイン学部進路状況

2015年5月1日現在

		デザイン科								合計		総計	
		MCブロック		PSブロック		Crブロック		LSブロック		男	女		
		男	女	男	女	男	女	男	女				
就	一般企業等(産業界)	印刷関連(製造業)	1	6	0	1	0	1	0	1	9	10	
		車など/工業製品(製造業)	3	1	4	5	0	2	0	0	7	8	15
		その他美術関連(製造業)	0	2	1	1	0	1	0	0	1	4	5
		卸売業・小売業	1	11	0	4	0	8	0	0	1	23	24
		サービス業(デザイン業等)	6	21	0	3	0	1	1	2	7	27	34
		その他業種(上記以外)	0	3	1	5	0	3	1	0	2	11	13
		フリーランスデザイナー	2	9	1	2	0	6	0	2	3	19	22
	上記以外のその他	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	
	小計	13	54	8	21	0	22	2	5	23	102	125	
	職	教職関係	公立学校教員関係(非常勤含)	0	3	0	0	0	0	0	0	3	3
私立学校教員関係(非常勤含)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
公務員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	13	57	8	21	0	22	2	5	23	105	128		
進	大学院	1	1	2	0	1	0	0	0	4	1	5	
	研究生	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3	3	
	海外(留学)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	その他(専門)	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	1	
合計	2	2	2	1	1	1	0	1	5	5	10		
就職希望なし	結婚・家事・自宅	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	
	その他	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3	3	
合計	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4	4		
就職活動中	講師登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	5	7	3	4	0	1	2	6	10	18	28	
合計	5	7	3	4	0	1	2	6	10	18	28		
総合計	20	66	13	26	1	26	4	14	38	132	170		

卒業生数	20	66	13	26	1	26	4	14	38	132	170
就職希望者数	20	66	13	26	1	24	4	12	38	128	166
就職者数	15	59	10	22	1	23	2	6	28	110	138
就職率	75%	89%	77%	85%	100%	96%	50%	50%	74%	86%	83.1%
	86.0%	82.1%	96.0%	50.0%	83.1%						

■2014年度 人間発達学部進路状況

2015年5月1日現在

		子ども発達学科		総計	
		男	女		
就	教職	公立学校教員	9	8	17
		公立幼稚園教員	0	1	1
		私立幼稚園教員	0	24	24
		その他の教育機関	0	0	0
	小計	9	33	42	
	福祉	公立保育所	1	15	16
		私立保育所	1	24	25
		福祉施設(保育士等)	6	5	11
		学童保育所(クラブ)	1	2	3
	小計	9	46	55	
職	一般企業	8	7	15	
	各種団体等	0	1	1	
	小計	8	8	16	
	公務員	0	1	1	
	小計	0	1	1	
合計	26	88	114		
進	大学院	0	0	0	
	研究生	0	0	0	
	海外(留学)	0	0	0	
	その他(大学・専門等)	1	1	2	
合計	1	1	2		
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	0	0	
	その他	1	3	4	
合計	1	3	4		
活動中(調査中)	講師登録・その他	0	3	3	
合計	0	3	3		
総合計	28	95	123		

卒業生数(9月卒業1名含む)	28	95	123
就職・進学希望者数	27	92	119
就職・進学者数	27	89	116
就職・進学率	100%	97%	97%

先輩の活躍



大学での音楽経験を支えに

2014年度 音楽学部 演奏学科
ピアノ選択コース卒業

沓名あやね

私は、成田空港の外資系航空会社でグランドスタッフとして勤務しています。グランドスタッフの仕事内容は、主にお客様に飛行機への搭乗案内をしています。チェックインカウンターで航空券の発券をしたり、お客様をゲートへ誘導するため、アナウンスをかけたり、空港内を探し回ったりもします。

私がこの仕事に就こうと決めたのは、毎日大好きな飛行機の近くで、大好きな空港という場所で働きたいという単純な理由でした。実際、働いてみると想像していた華やかなイメージよりも、忍耐力のいる仕事だとわかりました。毎日、早朝5時頃にタクシーで出勤し、飛行機が遅延すれば夜遅くまで帰ることができません。また、空港内は大変広いので移動やお客様を捜すために長い

時間歩き回ることが多いです。そんな勤務を終えて家へつく頃には疲れ果て、もう辞めたいと思うこともあります。しかし、大変な中にもやりがいがあり、支え合える同期や助けてくれる上司がいるため、もっと頑張ろう、成長しようと思いつながりながら過ごしています。日々、覚えることが沢山あるため、勉強の毎日で大変ですが、スキルアップのために努力しています。

私は大学で、音楽学部のピアノコースで勉強していました。今の仕事ではピアノに関わることはなくなりましたが、大学での経験や学んだことは無駄ではなかったと改めて思います。仕事で辞めなくなったときも、“自分は今まで、辛い時もピアノの練習を続けてきた”という経験が支えと自信になっています。そして、名古屋に帰れば名芸で出会ったたくさんの素敵な仲間がいるということも、大きな支えになっています。

生まれ育った愛知を離れて、今の仕事に就き、今までとは全く異なる世界で過ごす毎日です。今の環境は大変なことの方が多いですが、いつか愛知へ戻るときには今よりもっと成長し、自分自身に誇りを持って帰れるようになりたいと思っています。

(外資系航空会社 勤務)

児童厚生員として大切にしていること

2014年度 人間発達学部
子ども発達学科卒業

平井晴菜

私は今年の4月から岩倉市の児童館で児童厚生員として働いています。分からないことが多く不安や戸惑いもありますが、多くの先輩先生方に教えていただきながら、子どもたちと毎日を過ごしています。

大学在学中の4年間行ってきた児童館でのアルバイトの経験を生かしたいと思い、児童厚生員としての道を選びました。子どもたちと関わるのが主な仕事だったアルバイトとは違い、実際に働いてみて仕事の量や内容に驚いています。行事の準備・おやつのお買い出しや準備・たよりなどの書類作りなどがあり、館のすべての責任を担っています。最初は、慣れないことが多く上記のような事務作業をするのに時間がかかりました。5か月ほど経った今、少しずつですが仕事にも慣れ、子どもたちと楽しい時間を過ごしています。

私が働く児童館は、放課後児童クラブ併設であり主に

小学校1年生から4年生までの子どもたちと放課後の時間を過ごしています。毎日、子どもたちの「ただいま〜」から始まります。それぞれ年齢も性格も考え方も違う子どもたち。ぶつかり合うことも多くあります。しかし、なんでも職員が解決してあげるのではなく、子どもたち自身が自分たちで解決していくことができるような援助をしていくことが大切だと感じています。その分、子どもたちは自分で解決していく力を身につけることができると思うからです。子ども同士のトラブルは日常茶飯事です。ぶつかり合うことや嫌なことがあったとしても、子どもたちが帰るときには今日1日楽しかったと思えるようにしたいと心がけています。そのためにも、「子どもとスキンシップをとること」「子ども一人一人をみること」を大切にしていきたいと思っています。

毎日が勉強です。これからも子どもたちや先輩先生方からいろいろなことを吸収し、成長し続けていきたいと思っています。そして、子どもたちと楽しい毎日を過ごしていきたいです。

(児童館 児童厚生員)



舞台に関わること

2014年度 美術学部 美術学科
洋画2コース卒業

河路笙子

私は現在、一つの劇場の舞台照明に関わる仕事をさせて頂いています。伝統芸能に関わっているのですが、その中でも、歌舞伎や舞踊等の公演に関わることが多いです。

高校、大学と演劇部に所属していたことから舞台に関わる仕事に興味があり、就職活動中、大学二年次に就職支援の掲示板のところで見つけた劇場技術員募集の広告を思い出して試験を受けました。その募集は二年に一度しかしておらず、舞台美術、照明、音響、舞台、舞台監督すべての募集を毎回しているわけではなかったので自分の希望であった照明で内定を頂けたのは、とても運が良かったのだと思います。また、それは二年次から掲示板を気にかけていたおかげでもありました。ですが、私自身、内定を頂くまで伝統芸能の

知識はなく、歌舞伎も見たことがありませんでした。

それでも、舞台が好きな気持ちと、実際の舞台を見たこと、観客の反応を見ること、何よりそこで働いている方々と関わることで、今はその魅力を日々感じています。上司の方々の話を聞くことが自分の仕事を学ぶことでもあり、魅力とやりがいを知ることであると感じています。

今の仕事内容は、主に公演の照明の仕込み、本番、バラシの参加です。専門的な知識が必要ですが、上司の方々にお世話になりながら、日々学び、頑張っています。東京に来て初めて一人暮らしを始めたので生活することが大変だったり、心細かったりすることもあります。同じく上京した友人や、上司や同期との関わりが心強く、悩みや分からないことはすぐに相談をして、試行錯誤しながらも、新たな街を楽しんでいます。人との関わりは大切であるとより感じました。

これからも、好きなことを仕事にできている喜びを忘れず、たくさんの方から日々学び、より魅力を知り、努力していきたいと思っています。

(独立行政法人日本芸術文化振興会 勤務)

デザインの楽しみ

2014年度 デザイン学部
デザイン学科卒業

稲垣美帆

私はいま、issue+designでソーシャルデザインの仕事をしています。ある地域では線路沿いをフィールドワークして、町の人ひとりひとりにお話を伺ったり、またある地域では地場産業を活用したものづくりや、ワークショップで自治体の方と一緒に頭を悩ませたり。そしてオフィスに帰ってくると、これから次々とはじまる楽しいプロジェクトが待っています。いろんな人、いろんな地域と関わりながら、地域にある社会問題をデザインの手で解決していく仕事です。

ひとつのプロジェクトがはじまると、まずは情報収集やヒアリングからはじまり、何度も試作や考察、地域の人とのやりとりを繰り返し、ようやくかたちになります。私はこの過程こそが、仕事を楽しみ尽くせる部分であり、とても大切なところだと思っています。そういった過程をしっかりと踏んでいるからこそ、地域の人と同

じ気持ちで課題に取り組み、本当にいいと思うことをつくっていくことができ、はじめてデザインの力が発揮できるのだと思います。

今思うと、大学は本当に恵まれた環境で貴重な時間でした。あんなにも自分の興味関心に没頭できて、それを一緒に楽しめる友人や

知識を広げてくれる先生方がいるからです。ぜひ、いま自分が取り組んでいることの、どこに興味があって、どんなことを楽しいと思っているのかをよくよく考えてみてください。同じ課題に取り組んでいても、きっとひとりひとりいろんな視点で魅力を感じているのだと思います。それを自分の中でつかむことができれば、何かその先が見えてくるのではないのでしょうか。

社会に出てみると、まだまだ知らないことが溢れていて毎日学ぶことばかりです。そんな状況も楽しむように仕事に取り組み、大学で知った楽しいデザインの考え方をこれからどんなふうにも、仕事に、社会にいかしていけるのか、そんなことを考えているとわくわくします。

(株式会社博報堂D Yホールディングス
派遣先：issue+design 勤務)





University of Brighton
Graduate Show

ブライトン大学訪問記

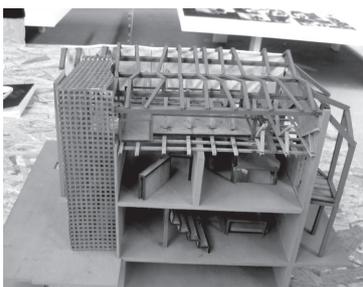
後援会会長 飯田康子

ブライトン大学との交流事業も今年で18年となり、その長い歴史に感慨ひとしおです。ブライトンは海岸沿いのリゾート地、週末にもなると観光客でにぎわいます。ブライトン大学は学生数2万人弱、スタッフは2100名、学部も多数の学部があり5つのキャンパスで構成されています。

その中の一つ美術学部の卒展となる、グラディエイトショウに参加させていただきました。日本とは入学、卒業の時期がずれているので6月にイギリスで名芸賞を贈り、2月に訪日していただき、ブライトン賞をいただくという流れが続いております。審査は美術学科長の須田真弘教授、デザイン学科主任の竹内創准教授、イギリス在住で名芸の名誉教授河野英一先生、国際交流センターの加藤多美子さんと私の5名で審査しました。

1位の作品(インテリア・デザイン)

第三の男の映画を見て人の動きが建物の中でどのようなバランスになっているか位置を計り見る側と演じる側のバランスを計算した建物が表現されています。



2位の作品(ファッション・テキスタイル)

日本にボロを繕って着るという言葉があります。違う素材を新しい感覚で繕うことを追求した作品



ノミネートは16学部、30作品です。審査の中で昨年までと大きく違っていたのは、近年ソウル大学の先生と一緒に審査するのですが、ソウル大学と名芸とノミネートされる作品が違うことでした。

受賞者は1位、2位はそれぞれ1名、3位は2名、上位4名には賞金と賞状、佳作8名には賞品が贈られました。

ほかの作品



授賞式の模様

イギリスと日本との文化の違いもありますが、表現するということはどこにでもどんなことにでも出来るんだと認識できるような広さと奥行き、またそれに比例した難しさと素晴らしさを感じました。

普段は荷物や私物などが沢山置かれた部屋を卒展に向けて全部荷物を出し作品だけにします。内覧会では父兄の方が夜遅くまで見学され、とてもアットホームな雰囲気です。パーティー慣れした文化を感じました。

今回の訪問でブライトンからの留学生と再会できたり、短期留学の名芸学生と会えたりと交流の大切さを感じる事もありました。今後も学生の力を発揮できる機会として交流が末長く続くことを心から願い、後援会としても少しでも支援していけたらと思っています。

CONCERTS GUIDE

2015年度 名古屋芸術大学音楽学部演奏会案内

6月 June

ザ・ネクサス・クラリネット・アンサンブル第1回演奏会
日 時/2015年6月13日(土) 19:00開演予定
会 場/ドルチェ・アートホールNagoya
入場料/一般3,000円・中高生2,000円(前売りは各500円引)

7月 July

コンチェルトの夕べ
日 時/2015年7月16日(木) 18:30開演予定
会 場/三井住友海上 しらかわホール
入場料/無料(全自由席)

8月 August

ピアノサマーコンサート
日 時/2015年8月8日(土) 13:30開演予定
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール
入場料/無料(全自由席)

NUA Strings 第8回定期演奏会
日 時/2015年8月30日(日) 15:00開演予定
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール
入場料/無料(全自由席)

9月 September

ウィンドオーケストラ 第34回定期演奏会
日 時/2015年9月21日(月・祝) 13:30開演予定
会 場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入場料/無料(全自由席)

10月 October

研究生特別演奏会
日 時/2015年10月8日(木) 18:00開演予定
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料(全自由席)

オーケストラ 第33回定期演奏会
日 時/2015年10月31日(土) 13:30開演予定
会 場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入場料/無料(全自由席)

11月 November

室内楽の夕べ(仮)
日 時/2015年11月12日(木) 開演時間未定
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料(全自由席)

音楽学部 第38回定期演奏会
日 時/2015年11月19日(木) 18:00開演予定
会 場/三井住友海上 しらかわホール
入場料/無料(全自由席)

12月 December

第17回 電子オルガンコース定期演奏会Earth Echo
日 時/2015年12月10日(木) 18:30開演予定
会 場/熱田文化小劇場
入場料/無料(全自由席)

室内楽の夕べ
日 時/2015年11月28日(土) 18:00開演予定
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール
入場料/無料(全自由席)

2月 February

第13回 歌曲の夕べ
日 時/2016年2月4日(木) 18:30開演予定
会 場/熱田文化小劇場
入場料/無料(全自由席)

2015年度 研究生修了演奏会
日 時/2016年2月9日(火) 18:00開演予定
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料(全自由席)

大学院音楽研究科特別演奏会
日 時/2016年2月12日(金) 開演時間未定
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール
入場料/無料(全自由席)

第20回 春のコンサート ピアノのしらべ
日 時/2016年2月19日(金) 17:30開演予定
会 場/熱田文化小劇場
入場料/無料(全自由席)

アンサンブル・フィラルモニク・ア・ヴァン 第17回定期演奏会
日 時/2016年2月20日(土) 14:00開演予定
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール
入場料/無料(全自由席)

カレードスコープ2016
日 時/2016年2月22日(日) 16:00開演予定
会 場/名古屋芸術大学音楽学部2号館大アンサンブル室
入場料/無料(全自由席)

オペラ公演
日 時/2016年2月26日(金) 18:30開演予定
会 場/西文化小劇場
入場料/未定

オペラ公演
日 時/2016年2月27日(土) 14:00開演予定
会 場/西文化小劇場
入場料/未定

3月 March

第18回 大学院音楽研究科修了演奏会
日 時/2016年3月3日(木) 18:00開演予定
会 場/三井住友海上 しらかわホール
入場料/無料(全自由席)

ミュージカル公演
日 時/2016年3月4日(金) 18:00開演予定
会 場/アートピアホール(ナディアパーク 11F)
入場料/未定

第43回 卒業演奏会
日 時/2016年3月10日(木) 17:00開演予定
会 場/三井住友海上 しらかわホール
入場料/無料(全自由席)

※予定につき変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。入場無料の公演は、整理券を発行します。
【お問い合わせ】名古屋芸術大学音楽学部演奏課 ■〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井 281 ■Tel 0568-24-5141

親の想い



社会の中で居場所を見つけるために

音楽学部
音楽文化創造学科
1年 母 近藤結花

我が息子は今年音楽学部に入學しました。今までと違う生活に慣れるまでに時間はかかりましたが、今では楽しく通っています。

3年前の高校入學時には、息子が音大に行くなんて考えてもいませんでした。彼が音楽を始めたのは3歳の時、ヤマハのグループレッスンから。6歳からはピアノの個人レッスンに変えました。しかし、小さいころから強制的にピアノの練習をさせられていたせいか、練習が嫌いになってしまい、高校に入ってから好きな曲を弾く程度になっていました。

高校では車が好きという理由で理工学部を目指し理数クラスへ、しかし、物理が苦手なで悩んでいました。そん

な時、音楽を分析しながら聞いている姿を見て思わず「音大って演奏するだけじゃなくてコンピュータで曲を作ったり、録音したりする技術も学べるよ。」と教えたら興味を示し、まずは、DTM教室に通うことに、そのあと名古屋大の音楽講習会に参加。学校の雰囲気も気に入り、名古屋大を受験することに決めました。

しかし、将来のことを考えると、親としてはとても不安でした。息子は自己表現が下手で、人前で意見を発表したり、文章を書いたり、コミュニケーションを取ることが苦手です。就職先はあるのか、どんな仕事に向いているのか、将来への心配は尽きません。けれども親バカながら、音楽を理解し表現することの能力は高いと思っています。今では大学でいろいろなことを経験し、苦手な部分を音楽でカバー出来たらと期待しています。

一年生の今は「大学生になる」という教科を学んでいるのですが、その次は「社会人になる」為の勉強です。そして卒業後には、彼の知識や人間性が生かされる職場に巡り合えるといなと願っています。



続けるという努力

美術学部 美術学科 日本画コース
1年 母 杉田知美

入學してから早いもので前期も終わりました。毎日元気で大学に行ってくれる事が何より嬉しい事です。息子は幼少の頃から絵を描き、物を作る事が好きな子供でした。写し絵から始まり、次第に漫画を見て描くようになりました。時間をかけて丁寧に色を塗り、コツコツと集中して描いていました。そんな姿を見て将来は画家かしたらと親バカになったものです。

ご縁を頂き、今大学では日本画科でお世話になっています。細かい作業が多く、白一色にも作るに根気がいり大変そうです。今はまだ何をしたいか、わからないようで、教職課程を受けながら模索中のようです。やりたい事が見つかって、見つからなくても大学を卒業する。という目標に向かい進んで欲しいと願っています。そして、これからも目の前にあることにコツコツと取り組ん

でもらいたいです。ピカソのように生まれながらの才能がある人もいれば、努力することによって花開く事もあると思います。そして臆せず、いろんな事にチャレンジして欲しいです。継続は力なり、毎日続けて行く事が大切な事だと思っています。10月に行われる学園祭でその成果を、作品を通して見る事が出来るのを楽しみにしています。



子の想い

1年を振り返って

音楽学部 演奏学科 ピアノコース
2年 内田美音

物心ついた頃から私の前にはピアノがありました。小さい頃はピアノの練習をしながら眠ってしまったり練習をサボっていると厳しい声が飛んできました。いつしか私にはピアノの無い生活はありませんでした。

本格的に習い始めた時先生が弾かれるショパンの曲がとても印象的で私もいつかあの曲が弾きたい！と目標をもちました。しかし想像とは違いレッスンは本当に大変で辛い毎日でした。高校生になってもピアノを続けていましたが体調を崩したり全く弾けなくなった時期もありましたが名芸へ入学しピアノへの取り組む自分の気持ちが少しずつ変わりました。

入学して1年半、周りの友達はレベルが高くクラシックの専門的な話が聞こえてくるたびドキドキしながら会

話の中へ入っていました。と言うのもいままで本格的な音楽について話をする機会が無かったからです。

大学へ入学して初めて共通の話ができるようになりその時間が楽しく、名芸へ入学できて本当に良かったと思いました。

先生のレッスンは毎回緊張の連続ですが、曲の意味や作曲者の考え方など、いろいろな角度からその曲を捉え細やかな御指導をして下さいます。まだ弾くことだけで精一杯ですが聴いて下さる人に伝わる演奏が出来るようになればと思っています。

昨年12月には第九演奏会にも参加し一つ一つ作り上げていく合唱と演奏の楽しさに触れ感動的フィナーレを迎え涙がこぼれました。あの感動をもう一度経験したいです。

不安と淋しさで始まった生活もようやく慣れてきました。残りあと2年半、この学校で学んだたくさんの経験を生かし、将来は音楽関係の仕事に携わることができたらと思っています。

名芸との出会い

音楽学部 音楽文化創造学科
エンターテインメントディレクションコース
1年 川瀬かなえ

元々、高校の同級生の『学校説明会について来て欲しい。』という言葉がきっかけで名芸と出会いました。

当時、私は志望校は違う学校を目指していたので、その時は付き添いの予定で行った説明会でした。説明会に参加してみると先生方はとても優しく気さくに接して下さいました。そのため付き添いのつもりで行った私はどんどん質問をしました。でも、先生方は沢山の事を教えてくださりとても充実した時間を過ごして帰宅することができました。

帰宅してから、母にその日の出来事を話すと『ここにやりたいことが詰まってるんじゃない？』と母が言い出し、いつの間にか私もAO入試を受けることになりました。

その時点で願書締め切りまでは二日間しかなく急いで、願書書類作成、個人写真撮影、願書は持ち込みし、今

があります。あの時、私に声をかけてくれた友人に心から感謝です！

入学してからは、新しいことばかりを知り、仲間とも楽しく過ごしてとても楽しい学校生活を送っています。

今は机上の勉強が多いですが、この先実習授業も増えてくるので何が待っているのかとても楽しみです！

まだまだ学ぶことだらけですが、この4年間でどれだけ自分が成長できるのか、そしてどんな社会に出て行くのか分かりませんが、これからの4年間楽しく充実した4年間を過ごして行きたいと思います。



クラブ・同好会紹介 〈東キャンパス〉

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	ジャズ研究会	楽器を持ち寄り、セッションや打ち合わせから楽器のテクニックや感性を磨き、スキルアップを図る。また、コミュニケーションの場としても機能し、演奏の質や自立力を向上させる。
2	Jampa Swing Orchestra	日々のトレーニングから楽器のスキルアップを図り、その結果として定期的なライブ活動を行なう。また、団体行動を通して協調性、社会的モラル、マナーなどを身につけ、心身・技術ともに向上することを目的とする。
3	フットサル部	私達は、フットサルを通して技術の向上を目指すとともに、将来のために様々な人と関わることでコミュニケーション能力をつけられるようにするために活動しています。
4	フラワーショットテニスクラブ	テニスを通して、身体を動かすことや仲間と交流することの楽しみを味わい大学生活を充実させるため。
5	ミュージックボランティア	大学での授業の実習以外での音楽・音楽療法活動をする。
6	子ども文化サークル	人形劇の制作をし、発表を通して子ども達と交流する。
7	自然と暮らしを楽しむ会	都会での人工的な生活に慣れて、人間の生活は自然の営みに支えられていることの実感を見失いがちになっています。今ならまだ身近にも発見できる、自然の不思議さ、逞しさを実感し、自然の恵みによって私たちの命と生活が成り立っていることを体感することができます。自然についての知識や技術を沢山たくわえ、次世代にも伝えていきます。
8	爆音楽部	ジャムセッションやスタジオ練習を通してアイコンタクトやかけあい意思疎通ができるようになる。学内外を問わず活動することを視野に練習等をする。
9	B・B・Z	短い時間で少しでも技術を高める為に、チーム全員で声を掛け合いながらコミュニケーションをとり、稲沢大会で優勝することを目標に頑張っています。また、今年登録したリーグ東海で2部に上がれるように頑張りたいと思います。
10	ルーディメンツクラブ	打楽器の基礎といわれるルーディメンツを学び、それを練習することで部員の演奏技術の向上を図ることが目的である。
11	和太鼓部	和太鼓および伝統楽器を演奏し、自分達も伝統文化を学ぶと共に演奏会を通し、学外の人とふれあい伝統文化を広げていく。
12	ワンダーフォーゲル	私達は自然と触れ合い、自然体験活動リーダー、ネイチャーゲーム指導員の資格を取得し、将来役に立つように活動していく。
13	ダンスサークル	ダンス活動を通して適度な運動をし、健康的な体を作り上げること。様々な学年と創ることや考えることを共にし、交流を深め大学祭などを名古屋芸術大学の一員として盛り上げることを目的とする。
14	すくらんぶる	ボランティアを通して子どもと関わることで、大学で学んだ保育の知識・技術を生かし、経験を積む。様々な活動で他大学の学生と交流することで、視野を広げるように活動していきたい。
15	リズム体操部	私達は創って、動いて、指導することを目的とし、地域との交流を深めていきたいです。さらにラートの大会に出場し、他大学との交流を深めていきたいです。
16	中音部	音楽を通じて交流を図り、輪を広げる。他大学との交流も積極的に行い、輪を広げていく。
17	冒険KID'S	自然豊かな岐阜県郡上八幡で春夏秋冬を通し、小学生に自然とふれあう事の楽しさを伝え、一緒に学び、遊びながら「楽しく」「安全に」「予定通りに」サポートスタッフとして勤め、私たちが目指す将来に役立つ「何か」を学びとる。
18	人間発達学部吹奏楽部	子どもから大人まで、たくさんの人に吹奏楽の生の演奏をきいてもらって、音楽の楽しさを伝え、私達も音楽を楽しむより良い演奏をするために活動している。
19	自由工房	私達は壁面制作や工作をすることによるスキルアップを活動目的とし、地域の夏祭りや小学校での工作講座、ファミリーサポートセンターの壁面を飾り付けをすることにより、地域の方々や子どもとの交流も深めていくことができるよう、活動しています。
20	EXIA'S	バレーボールを通して、スポーツのマナーや礼儀を学ぶとともに、運動習慣を付ける。バレーボールの技術を向上させ、学外の大会で活躍するため。
21	名芸討論部 めいろん	討論やディベートを通してコミュニケーション能力を高めることによって就職試験や社会に出てから自分の考えをまとめて伝える力を身につけるため。
22	女子スポ同好会	私達は体を動かし先輩後輩関係なく、一緒になってスポーツを楽しめるようにすることを活動目標とする。
23	録音同好会	様々なジャンルの録音技法を研究し、学生自らで録音作品を作り上げるのを目標とする。サウンドメディアコースとの学びの場を共有することも目的とする。

クラブ・同好会紹介 〈西キャンパス〉

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	テニス部	テニスを通じて体力の向上をはかるとともに、北名古屋市の主催する大会などに参加して地域との交流を深める。

2	G O N C E ス キ ー 部	スキーやその他のスポーツを通して、充実した学生生活を送ることにより心身ともに成長する。
3	着 付 け 部	着付けを通して日本の文化を学び、着物の作法等、日常生活や将来に役立つような活動を目的とする。また、着付けでコミュニケーションをはかり、親睦を深める。
4	空 手 道 部	空手を通じ心身を鍛えるとともに礼節や伝統を尊重する態度を養う。礼節、勇気、忍耐力、内省、克己、利也、協調性、思いやりなど社会的能力や高い徳性を養う豊かな人間教育を目的とする。
5	バトミントン部	学年を超えて活動を共にすることで、上下関係、交友関係を広げる。週1~2回の活動で健康的に体を鍛え、体力をつけることを目的とする。
6	サ ッ カ ー 部	サッカーを通じて他学年、他学部との交流を深める。大会で優勝するという目標をもって努力する。
7	動 画 漫 画 研 究 部	芸大祭の催し物で出店するアニメ・特撮の制作、またコミックマーケットに向けての漫画制作、その他ギャラリーのイラスト展示会など様々な制作活動における交流や創造力の向上を目的とする。
8	写 真 部	写真技術の向上と写真表現の研究、写真部員同士による写真と美術、デザインに対する関わりの研究を目的とする。
9	自 由 音 部	音楽を通じて仲間との交流を深める。また、クラブイベントという一つの目標に向かって日々努力し、成功させることにより、困難に立ち向かい壁を乗り越える力を養う。
10	軽 音 部	音楽を通じて違う学科の学生と交流を深め、大学生活を充実させることが目的。それぞれバンドを組み活動を行い、技術の上達、交流を深める。
11	陶 芸 部	自ら粘土を形成して陶磁器などを作ることにより、創作意欲を高め、それを自ら販売することで交流を深める。
12	サマータイムブルース(野球部)	社会人と野球をすることで社会との交流を深める。
13	版 画 部	版画コース以外の部員も工房を使い、展覧会の発表に向けて作品制作を行う。
14	バスケットボール部	週に2回バスケットを楽しむことで、主に試合形式でスポーツを楽しみます。
15	演 劇 部	芸大祭での演劇公演に向け柔軟体操、筋肉トレーニング、稽古に励む。
16	フ ォ ー ク ギ タ ー 部	音楽活動を通じて、様々な人と交流を図る。ライブ活動を行い、音楽の技能の向上を楽しみながら目指す。
17	ストリートダンス部	ダンスという全身を動かすスポーツにより、心身のリフレッシュ、また体力の増進を主な目的とする。芸大祭においては、ステージでの演技発表を目的とする。
18	映 像 研 究 部	ここ数年、表現の幅が拡大している映像メディア。それを通じて個人にどのような影響があり、社会にはどんな変化があるのかを研究する。又、この研究において映像制作を行う。
19	チ ェ ア ー ズ	子どもと遊びについて考え、子供に物づくりの楽しさを知ってもらうことを目的とする。
20	SweetCandyBoys&Girls	アウトドアな活動に積極的に取り組み、自然のありがたみを体で感じる。
21	ウインドサーフィン部	ウインドサーフィンの技術の習得、マリンスポーツを通じて自然に親しむ方法を身に付ける。仲間との親交を深める。
22	書 道 ア ー ト	書道や書道パフォーマンスの既存のイメージの枠を超え、ジャンルにとらわれない芸術を探求し、書道の新たな可能性を提示していく。書道や書道パフォーマンスの既存のイメージの枠を超え、ジャンルにとらわれない芸術を探求し、書道の新たな可能性を提示していく。
23	ワンダーフォーゲル部	自然とふれあいを通して仲間との絆を深め、また協力することによって達成感を味わう。行く先々で出会う自然の風景のスケッチや写真撮影を行い、非日常的な体験を通じて感性を磨く。積極的に清掃山行にも参加し自然への理解を深め、自然災害に対する知識を身につける。
24	美 術 部	それぞれの学部が集い美術活動をする。油彩、日本画、クロッキーなどお互いに教えあい自由に制作をする。芸祭では展覧会をしたいと予定している。学外でも展示をし、外部とも積極的に交流をしていきたい。コンペにも挑戦し、活動の幅を広げていきたい。
25	チ ョ ッ タ 韓 国	韓国が好きで、興味がある人で交流し、もっと関心を深めると同時に冊子などを作り、他の人へ韓国の魅力を伝えていきたいと考えています。そして韓国関係の行事やイベント、展示などへ参加し、教養を深めていく。
26	バ レ ー ボ ー ル 部	体力を高め、チームの絆も深め、自発的・自主的にスポーツを行い、スポーツの楽しさや喜びを味わい学校生活に豊かさをもたらす意義を有するのが活動の目的であります。
27	M A K E 同 好 会	メイクの研究によって生活を色どり、新しい自分を発見する活動を通して表現力を高め、発表の場を広げていく。
28	オ カ ル ト 研 究 会	日常生活において見慣れない事物であるオカルト、SF及びそれらをテーマとした作品に触れ、芸術的な感性を養うこと。
29	食 文 化 研 究 会	日本各地また世界各国にある伝統料理を実際に作ったり口にすることによってその地域の食文化に直に触れることで知識を深めていく。
30	平成期新興美術会	リレーショナルアートの文脈から日本のネオダダイズムオーガナイザーやハイレッドセンターそして田中功起などの流れを理解し、我々の表現を模索していく。

TOPICS *pick up*

音楽学部

学院創立60周年記念事業

オーケストラ第32回定期演奏会が盛大に行われました



2014年12月4日、本学院創立60周年を記念して、日本特殊陶業市民会館大ホールにて、オーケストラの定期演奏会を盛大に開催しました。

2200名収容のホールに2000名を超えるお客様にご来場いただき、学内関係者を含めほぼ満席となりました。演奏曲目のメインは、ベートーヴェン作曲の「交響曲第九番」です。出演者は国内外で活躍中の卒業生、ソプラノの加地さん、アルトの飯森さん、テノールの加藤さん、バスの伊藤さん、をはじめ、学生オーケストラ約90名、声楽コースを中心とした学生、OB・OG、教職員、保護者で組織された合唱団約180名。古谷先生の流麗でダイナミックな指揮に見事に応え、素晴らしい演奏を披露しました。



開演前のロビーには、フロッターージュとコラーージュ「学び舎の記憶」と題した約90cm×5mの作品が数点、また東キャンパスで長年学生達を見守って来た美術学部神戸教授の作品を中心とした卒業生達の立体作品が展示されました。総合芸術大学らしい60周年の記念事業に相応しいイベントとなりました。ご来場の皆様からも、称賛のお言葉を頂戴しました。

ご来場いただきましたみなさま、60周年を迎えるにあたって本学にご理解・ご支援いただいているみなさま、卒業生のみなさまに厚く御礼申し上げます。

美術学部

第42回名古屋芸術大学卒業制作展記念講演会

ナガオカケンメイ氏による記念講演会が開催されました



2015年3月3日(火)～3月8日(日)にかけ、愛知県美術館ギャラリー(愛知芸術文化センター8階)ほか3会場で「名古屋芸術大学卒業制作展」が開催されました。今年で42回目を数えるこの卒業制作展は、それぞれの学生にとって長年の研鑽の総括であり、次のステップを踏み出すための覚悟の表明の場です。美術・デザインの可能性を信じ、未来に向かって力強く羽ばたこうとする学生たちの個性の集積を、多くの方々にご覧いただく機会となりました。

この卒業制作展を記念して、会期中の3月7日(土)には、アートスペースA(愛知芸術文化センター12階)で、卒業制作展記念講演会が行われました。講演には、デザイン活動家・D&DEPARTMENTディレクターのナガオカケンメイ氏を招いて、「デザインしないデザイン」をテーマに講演をしていただきました。

ナガオカ氏は1965年北海道に生まれ、高校卒業まで愛知県で過ごされました。講義に先立ちナガオカ氏は「愛知は私の故郷です。だからこそ、愛知のデザインに対しては辛口ですよ(笑)」と会場を沸かせました。

講義では、今年50歳を迎えられたナガオカ氏が、デザイナーとしてスタートを切った18歳を起点に、グラフィックデザイナーとして腕を振るった日本デザインセンター時代や、ロングライフデザインをテーマにしたストア「D&DEPARTMENT」を始められたきっかけ、60年代の廃盤商品をリ・ブランディングする「60VISION」への取り組み、47都道府県をテーマにした物販、飲食、出版、観光など、47の日本の「らしさ」を見直す活動まで、年齢ごとに体験した出来事としてまとめ、スライドとお話して丁寧に解説されました。

「デザインは、デザイナーのおもちゃではない」、「本当に価値のあるデザインは再利用され続ける」、「新しくデザインをおこさない、いいデザインを広めるのもデザイナーの仕事」といった、独立後にスタートした「D&DEPARTMENT」での経験や「60VISION」から学んだという、デザインに対する正直な姿勢がとても印象的でした。また、「(伝統工芸から学ぶ)土地ごとに個性的なデザインがある、デザインは東京だけのものではなかった」、「ただ、かっこいいだけのデザインは無意味」、そして結びの「生活者もデザイナーになれ、デザイナーも、生活者になれ。」は、これからクリエイティブの世界に挑む学生たちにとって、先人からの貴重なアドバイスとして、きっと心に沁みわたったに違いありません。講演会を終えられたナガオカ氏に、客席から惜しみない拍手が送られました。

最後に、講義の中で、本卒業制作展に参加した学生へ向けたナガオカ氏からのアドバイスをご紹介します。

31歳で独立し、D&DEPARTMENTの前身であるデザイン会社「DRAWING AND MANUAL」を設立したナガオカ氏。「この当時、フリーペーパーの刊行や中古品のリサイクル、リペアした商品を販売するショップをスタートしました。このとき発行し続けたフリーペーパーが、私の原点だと感じています。皆さんも、この卒業制作で作った作品が原点になる可能性があります。その作品を毎日のように見て、そこから新しい発想をできれば、後でものすごく説得力を生みだしてくれますよ。自分の原点だという意識をもって大切にしてください。」



デザイン学部

本学卒業の彫刻家、植田努氏が「ハチ公と博士」の新銅像を制作 東大で披露されました

東京渋谷の銅像で知られる忠犬ハチ公の命日から80年となる3月8日、東京大学農学部キャンパス正門横に、飼い主で東京帝国大学(当時)教授の故上野英三郎博士とハチ公の新たな銅像がお目見えしました。東大の有志による「ハチ公と上野英三郎博士の像を作る会」が寄付を集め制作しました。

銅像は高さ約1.9メートル、幅約1.8メートルで、長期出張から戻った博士に尻尾を振ってじゃれつくハチ公と、それを笑顔で受け止める博士の場面を再現しています。

制作を担当したのは、動物を描くことに定評がある本学卒業の彫刻家、植田努氏で、昨年7月から半年がかりで制作。「幼いハチ公が博士に飛びつく、動きのある一瞬を表現した」とのことです。ハチ公の写真は晩年の一枚しかなかったが、秋田県に通い、本場の秋田犬を見て研究したそうです。「この像がいつまでも愛され、人間と動物の絆のシンボルとなってくれたらうれしい」と話していました。(東京新聞記事より)



人間発達学部

「春を呼ぶ芸術フェスティバル」を開催しました

2015年2月14日(土)、人間発達学部主催による恒例の「春を呼ぶ芸術フェスティバル」が開催されました。

このフェスティバルは、人間発達学部をこの春卒業する4年生と退任される先生方を送り、4月から入学する高校生を歓迎するとともに、地域の子もたちに楽しんでいただくことを目的として、毎年、年度末のこの時期に開催されています。演出は学生実行委員の企画運営によるもので、子どもたちに芸術文化の楽しさを伝えるとともに、一緒に楽しめるように、学生たちが日ごろから授業やサークル、また、個人で研鑽を積んできた成果を発表する場となっています。プログラムの前半は、合唱や独唱、ピアノ演奏、絵本の読み聞かせなど。後半は、サークル活動の成果として、吹奏楽部、リズム体操部、ダンス部、和太鼓部などの演奏が行われました。熱演する学生や教員に会場から大きな拍手が送られていました。



今回の「春をよぶ芸術フェスティバル」では、スペシャルゲストとして、世界屈指のオルガン奏者にしてサウンド技術者であるドン・ルイスさんが、演奏を披露してくれました。最初に、ドンさんのプロフィールの紹介があり、音楽に関係するさまざまな分野で多大な功績があることに会場からは感嘆の声が上がりました。その後、パイプオルガンの演奏がありました。ベダル・ワーク(足さばき)が電子オルガン同様、素晴らしく後ろから見入った人も多数いました。

次はピアノで独演。ジャズ風の素晴らしいアレンジで、終了後、本学の音楽学部で鍵盤楽器を教える専任教員が「ブラボー!!」と思わず大きな声を上げるほどでした。その後、人間発達学部生で急遽編成された合唱隊がピアノの周囲に並び、かつて農場で過酷な労働をさせられた黒人奴隷による労働歌をパフォーマンス付きで歌いました。ドンさんはソロ部分を高らかに歌い上げ、設置されているマイクが要らないほどでした。

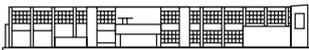
そして最後はどんな悪い時(天候)が続いても、いつかは良いことがある(天気になる)という明るい歌を学生たちが大きな声で合唱し、ステージを盛り上げました。たった一度、1時間程度のレッスンでここまで音楽を専門としない学生をまとめるのに、教師としてのドンさんの素晴らしさを実感させられました。ドンさんはスタンフォード大学等で黒人霊歌の歴史や、シンセサイザー開発等のサウンド技術など幅広い分野で教鞭を取られていますが、合唱の指導力にも敬服されました。フェスティバル終了後、感謝の気持ちとしての花束贈呈や、学生たちとの記念撮影なども行われました。

ドン・ルイス氏略歴: マイケル・ジャクソン、クインシー・ジョーンズ等ともコラボ。ドンさんの曲はオバマ大統領のキャンペーンソングにも使用されました。一昨年のグラミー賞受賞者であるMIDI規格普及に努められた梯郁太郎氏(ローランド創業者)とは、MIDI規格、シンセサイザー技術開発でも協力し、今でも親密です。学生時代、ノーベル平和賞受賞者であるキング牧師に依頼され、公民権運動で演奏もしています。

アート&デザインセンター 2015/2016 展覧会スケジュール

2015	
4月1日(水)~4月15日(水)	2014年度デザイン学部レビュー選抜展
4月17日(金)~4月22日(水)	ビギナーズチョイス ー素描を楽しむー
//	なおこのふく みやこのふく
4月24日(金)~4月29日(水)	退ける空気
//	未来都市とディティール
//	武器展
5月8日(金)~5月13日(水)	ADシネマ Presented by フィルムナイト
//	写真部『春展』
5月15日(金)~5月20日(水)	書道アート展(仮称)
//	ハムック展(仮)
5月22日(金)~5月27日(水)	名古屋芸術大学OB・OG展
5月29日(金)~6月3日(水)	創作折紙展
//	色糸 ~ゆらゆらの森~
//	お絵描き会の為の展示『拝啓、私の中に存在するモノ(仮)』
//	THE MEDAL COMPLEX
6月5日(金)~6月10日(水)	『AFTER DENMARK2015:中田由絵×長谷川直美』展
//	すべての子供たちのために(仮)
6月12日(金)~6月17日(水)	名古屋芸術大学 教員展
6月19日(金)~6月24日(水)	peace nine 2015
//	アートクリエイターコース・コレクション展(仮称)
6月26日(金)~7月1日(水)	名古屋芸術大学大学院 洋画制作2015
7月3日(金)~7月8日(水)	プレ ソツテン
7月10日(金)~7月15日(水)	2015年度前期留学生作品展
7月17日(金)~7月22日(水)	スペースデザインコース展(くうねるところにすむところ展)
//	大学院コミュニケーションアートアンドデザイン演習発表
//	美術学部展覧会(仮)
7月24日(金)~8月5日(水)	「素材」展
9月18日(金)~9月30日(水)	2015年度アート&デザインセンター企画展 これまでの客員教授から見えてくる「名芸のデザイン」
10月2日(金)~10月7日(水)	彫刻展
10月9日(金)~10月14日(水)	洋画1コース3・4年展
10月16日(金)~10月28日(金)	2015年度アート&デザインセンター企画展 『佐喜真美術館のスタンス ~丸木位里・俊、ケーテ・コルヴィッツを中心に』展
10月30日(金)~11月4日(水)	ア”ーッ!ラジオ&大学院同時代表現研究企画
11月6日(金)~11月11日(水)	遭遇するドローイング:ハノーファー&名古屋2015
11月13日(金)~11月18日(水)	MCDデパートメント
11月20日(金)~11月25日(水)	『幼稚園児たちのゲイジツ2015』展
//	『Handhospeace:医療と美術』展
11月27日(金)~12月2日(水)	洋画2コース2年生選抜展(仮称)
12月4日(金)~12月9日(水)	メディアデザインコース展
12月11日(金)~12月16日(水)	こどもの空間 絵本と椅子
//	2015年度後期留学生作品展
12月18日(金)~12月23日(水)	日本画3年作品展
//	洋画二人展(仮称)
//	『博物館とアートの出会い』(仮称)
2016	
1月8日(金)~1月13日(水)	ガラス・陶芸コース2・3年生合同展覧会(仮)
1月15日(金)~1月20日(水)	美術学部コース展
3月1日(火)~3月6日(日)	第43回名古屋芸術大学卒業制作展
~4月(日)(水)	2015年度デザイン学部 レビュー選抜展

※都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

Art & Design Center 

名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市徳重西沼65番地 tel.0568-24-0325 tel/fax.0568-24-2897

「せせらぎ合唱団」 会員募集

この「せせらぎ合唱団」は、今から16年前から元後援会の有志より「歌を歌って楽しもう」と活動を始めた合唱サークルです。

毎月第三土曜日の午後1時30分から3時まで、音楽学部の4号館の3階のオペラ教室で江端智哉先生と山田正文先生に交代で発声練習からパート練習を重ねて合唱曲に仕上げてもらっています。昨年は、12月4日名古屋芸術大学主催のベートーベンの第九合唱を有志で歌い上げて、大変な感動を受けました。

最近では、中学校で歌ったことのある「ローレライ」や「エーデルワイス」を5月の定期総会に於いて練習録音を保護者の方に聞いていただきました。まだまだ十分な力量はないですが、現在10数名で続けています。ぜひとも見学していただき、仲間に加わって下さることをお勧めします。この会には後援会に関係ある方ならどなたでも入会して頂けます。



〈問い合わせ先〉

会 長 長江政則	〒480-1214	瀬戸市上品野町927
		電話：0561-41-1655 携帯：080-3621-7706
副会長 千石智子	〒488-0863	尾張旭市城前町上大道4084-6
		電話：0561-53-4222 携帯：090-8469-4324

絵画グループ 壁の華 会員募集

この「壁の華」は、今から26年前に、名芸大後援会の有志によって、「絵を描いて楽しもう」と、活動を開始した絵画グループであります。毎月、名芸大の教室をお借りして、大学の先生方により懇切丁寧なご指導を頂いているとても素晴らしい絵画グループであります。年一回、名古屋市民ギャラリーで、会員の作品で飾る展覧会を行っております。また、研修会、鑑賞会、スケッチ旅行等、楽しい事が沢山あります。この会には後援会に関係のある方ならどなたでも入会して頂けます。入会すれば絵画を通じて、先生方や会員同士の交流が深まり、日々の生活が楽しく、人生に潤いが生まれて参ります。

会員一同、皆様のご入会をお待ちいたします。

【活動状況】

- 1、月例会
日時：毎月第3日曜日午後2時～4時
場所：名芸大西キャンパス
- 2、グループ展
日時：毎年5月上旬（一週間展示）
場所：名古屋市民ギャラリー
- 3、スケッチ会 11月予定
- 4、日展、二科展、国画展の鑑賞会

〈問い合わせ先〉

会 長 宇佐見 誠也	〒489-0874	瀬戸市幡野町508
		電話：0561-21-4567 携帯：090-7305-8205
運営委員長 森部 みや子	〒492-8075	稲沢市下津町西下町58
		電話：0587-32-2814 携帯：090-1825-1671



後援会学費貸付事業

〈後援会貸付事業終了について〉

後援会貸付事業は名古屋芸術大学で学び卒業したいという思いを少しでも援助できればとの思いから無利子という条件で昭和61年から現在に至るまで続けてまいりました。借りられた学生さんの中には10年という歳月をかけ少しずつ返され完済された方もいらっしゃいます。しかし、まだ残って見える方もみえ、返済事業を後援会が行うことに限界もあり、このたび業者に貸付業務と貸付金回収を委託することに今年度の後援会総会です承されました。来年度より導入されます。

新しい貸付は低金利で、貸し付けられたお金は直接学費として学校に納入されます。

新しい制度の詳細については事務局にお問い合わせください。名古屋芸術大学指定教育ローン「学費サポートプラン」をご参照ください。

皆様からお預かりしています後援会費が少しでも子供たちの学生生活を支援できるよう今後とも努力してまいります。ご理解のほど宜しくお願いいたします。

後援会会長 飯田康子

名古屋芸術大学・大学院後援会学費資金等の貸付規程

（目的）

第1条 名古屋芸術大学・大学院後援会（以下「後援会」という。）が行う学生の福利厚生事業の一環として、家計急変等により学費の納入が困難な学生に対し、後援会が学費を貸し付けることにより修学を援助することを目的とする。

（定義）

第2条 この規程により学費の貸付を受ける者を、名古屋芸術大学・大学院後援会学費貸与生（以下「貸与生」という。）と称する。貸付する学費を名古屋芸術大学・大学院後援会貸付金とする。

（資金）

第3条 学費貸付金は次の資金をもってこれにあてる。

- (1)後援会学費貸付口座預金
- (2)この規程に基づく返還金
- (3)寄付金・その他の収入

（貸付額）

第4条 該当年度の学生納付金半期分以内とする。

- 2 貸付金は無利息とする。
- 3 未返済金がある者に対しては、貸し増しは行わない。

（貸付方法）

第5条 学費貸付は、大学授業料口座への振込みによって行う。

（審議）

第6条 貸与生及び貸付額の決定に関しては、学生部長が大学の全学教務学生委員会の審議を経て、後援会会長に推薦する。

（貸与生の決定）

第7条 貸与生の決定は、後援会会長が行なう。

（貸与生の選考基準）

第8条 貸与生の選考基準は、以下に基づいて選考する。

- (1)1年以上継続した本会会員の子弟であること。
- (2)家計急変等のため本学に修学することが、特に困難であること。
- (3)応募者の属する世帯の1年間の総所得金額が独立行政法人日本学生支援機構の収入基準以下であること。
- (4)修学に十分耐うるものと認められること。

（申請手続）

第9条 学費貸付を希望するものは、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

なお、手続は学生支援課を窓口とする。

(1)後援会貸付金借用願

(2)貸付金返済計画書

(3)学費貸付希望者の所属する学科長の推薦書

(4)学費貸付希望者の属する世帯の1年間の総所得金額を証明する書類。

（借用手続・借用証書）

第10条 学費貸付決定者は、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

- (1)借用証書（借用願と同じ保証人および連帯保証人の連署を要する）
- (2)貸付金返済計画書に基づく同意書
- (3)銀行口座振替依頼書（自動送金サービス用）（学籍を離れる時に提出するものとする）

（返還及期間）

第11条 貸付金は、学籍を離れてから3年以内で返還しなければならない。ただし、借用願出の際に虚偽の記載があった時は、直ちに返済するものとする。

- 2 返還方法は、一括返済または元金均等割とする。
- 3 貸付金の返還は、いつでも繰り上げて返還することができる。
- 4 返還は、学生支援課を窓口とする。

（返還猶予）

第12条 貸与生が傷病・その他やむを得ない事由によって返還猶予を願い出たときは、相当と認める期間猶予することができる。

（権限委任）

第13条 この規程に基づく学費貸付金の貸付手続き及び返済收受等の一切の権限を学長に委任するものとする。なお、この規程で疑義が生じたときは、会長と学長が協議のうえ決定する。

（改廃）

第14条 この規程の改廃は、後援会の総会の議を経て会長が行なう。

附則

- 1 この規程は昭和61年7月1日から適用する。
- 2 この規程は昭和63年4月1日から適用する。
- 3 この改正規程は平成16年4月1日から適用する。
- 4 この改正規程は2005年(平成17年)4月1日から適用する。

名古屋芸術大学・大学院後援会会則

- 第1条 本会は名古屋芸術大学・大学院後援会（以下「本会」という）と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。
- 第2条 本会は名古屋芸術大学・大学院の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
 - (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
 - (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業。
- 第4条 本会は名古屋芸術大学・大学院学生の保護者または、これに代わる者及び役員会が認めた本学卒業生の保護者をもって組織する。
- 第5条 本会に次の役員をおく。
- (1) 会長1名、副会長4名、監事1名、会計監査2名、書記2名、会計1名
- 第6条 本会の役員選出は次の方法による。
- (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
 - (2) 書記、会計は役員の中から会長が委嘱する。
 - (3) 役員任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 第7条 本会役員の仕事は次のとおりとする。
- (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時はその代理をする。
 - (2) 監事は会務を監査する。
 - (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。
- 第8条 本会の会議は総会、役員会とし、議長はその都度選出する。
- 第9条 定期総会は原則として年1回、5月に会長が招集する。必要と認めた場合は臨時総会を開くことができる。
- 第10条 総会は次の事項を審議・決定する。
- (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関する事。
 - (2) 会則の改定、会の解散に関する事。
 - (3) 役員を選出、その他の役員が必要と認めた事項。
- 第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した者の過半数をもって議決する。
- 第12条 役員会は出席役員で成立し、会長が招集、議事は出席役員過半数で議決する。役員会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。
- 第13条 本会にその目的を達成するために次の委員会をおく。
- (1) 総務委員会
 - (2) 事業委員会
 - (3) 広報委員会
- 第14条 委員会に、委員長1名、副委員長2名および委員若干名をおく。
- 2 委員長は副会長が兼務し、副委員長及び委員は委員会の同意を得て会長が指名する。
- 第15条 本会に顧問をおくことができる。顧問は役員会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。
- 第16条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降年額10,000円とする。大学院生は年額10,000円とする。
- 第17条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第18条 本会則の運営に必要な事項は、役員会の議を経て会長が定める。
- 附則
- 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
 - 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し実施する。
 - 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。
 - 4 本改正会則は平成25年5月19日から実施する。
 - 5 本改正会則は平成26年5月18日から実施する。

名古屋芸術大学・大学院後援会の甲意に関する内規

1. 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、甲慰金1万円を給付する。
2. 保護者（父・母）が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、甲慰金5,000円を給付する。
3. 役員2親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、甲慰金として5,000円を給付する。
4. 甲慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
5. この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会に事後報告する。

附則1. この内規は、慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。

附則2. この改正内規は、2006年6月1日より施行する。

名古屋芸術大学・大学院後援会顧問の委嘱に関する内規

1. 名古屋芸術大学・大学院の顧問は、原則として、役員会の承認に基づき、会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
2. 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
3. この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会の承認を得るものとする。

附則 この内規は2005年（平成17年）4月1日から適用する。

学校法人名古屋自由学院決算報告

平成26年度 消費収支計算書

(単位：千円 四捨五入)

科 目	25 年 度	26 年 度	前年度比較
【消費収入の部】			
学生生徒等納付金	3,497,432	3,322,114	△175,318
補助金	345,309	259,402	△85,907
その他	307,277	282,701	△24,576
A 帰 属 収 入 計	4,150,018	3,864,217	△285,801
基 本 金 組 入 額	0	0	0
B 消 費 収 入 の 部 合 計	4,150,018	3,864,217	△285,801
【消費支出の部】			
人件費	2,812,676	2,495,067	△317,609
教育研究経費	1,370,460	1,312,710	△57,750
管理経費	455,668	455,756	88
その他	108,306	9,747	98,559
C 消 費 支 出 の 部 合 計	4,747,110	4,273,280	△473,830
A - C 当年度帰属収支差額	△597,092	△409,063	188,030
B - C 当年度消費収支差額	△597,092	△409,063	188,030
基 本 金 取 崩 額	172,631	883,713	711,082

消費収入の部は、学納金・補助金ともに前年度を下回った結果、帰属収入合計は38億6,422万円(前年度比2億8,580万円減少)となりました。基本金組入額は、取崩額が上回ったため今年度はなく、消費収入の部合計は帰属収入合計と同額となりました。

消費支出の部は、人件費24億9,507万円、教育研究経費13億1,271万円、管理経費4億5,576万円、消費支出の部合計は42億7,328万円(前年度比4億7,383万円減少)となりました。

当年度帰属収支差額は4億906万円の支出超過(当年度消費収支差額も同じ)となりました。

平成26年度 貸借対照表

(単位：千円 四捨五入)

科 目	26年3月31日現在	27年3月31日現在	前年度比較
【資産の部】			
固定資産	16,335,344	16,209,810	△125,534
流動資産	2,227,451	1,857,092	△370,359
資産の部合計	18,562,796	18,066,902	△495,894
【負債・基本金・消費収支差額の部】			
固定負債	1,319,707	1,266,738	△52,969
流動負債	840,723	806,862	△33,861
負債の部合計	2,160,430	2,073,600	△86,830
基本金の部合計	20,371,223	19,487,510	△883,713
消費収支差額の部合計	△3,968,858	△3,494,208	474,650
負債・基本金・消費収支差額信合計	18,562,796	18,066,902	△495,894

資産の部合計は180億6,690万円(前年度比4億9,589万円減少)、負債の部合計は20億7,360万円(前年度比8,683万円減少)、基本金の部合計は194億8,751万円(前年度比8億8,371万円減少)、消費収支差額の部合計は34億9,421万円の支出超過となりました。

※詳細は、名古屋芸術大学ホームページをご覧ください。

